

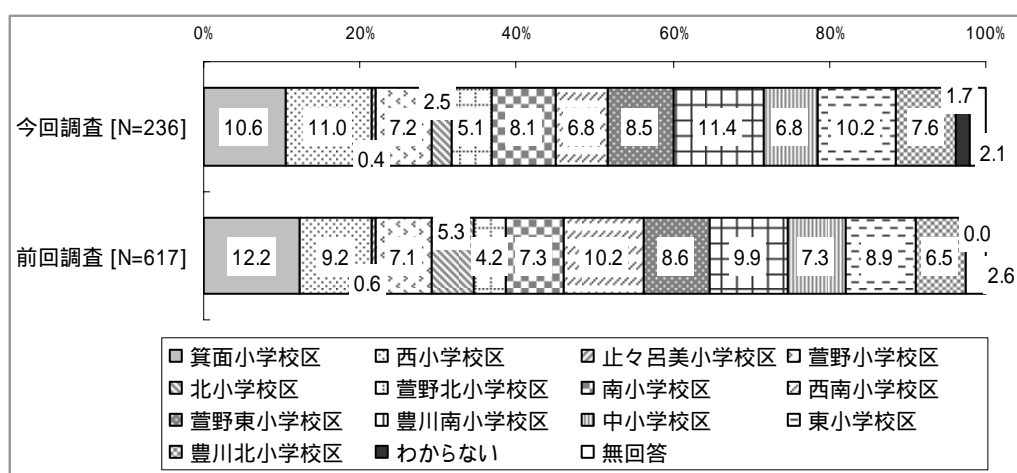
3 . 1 7 歳調査結果の分析

1 . 回答者の属性

(1) 小学校区

小学校区は、割合の高い順に、「豊川南小学校区」(11.4%)、「西小学校区」(11.0%)、「箕面小学校区」(10.6%)等となっています。

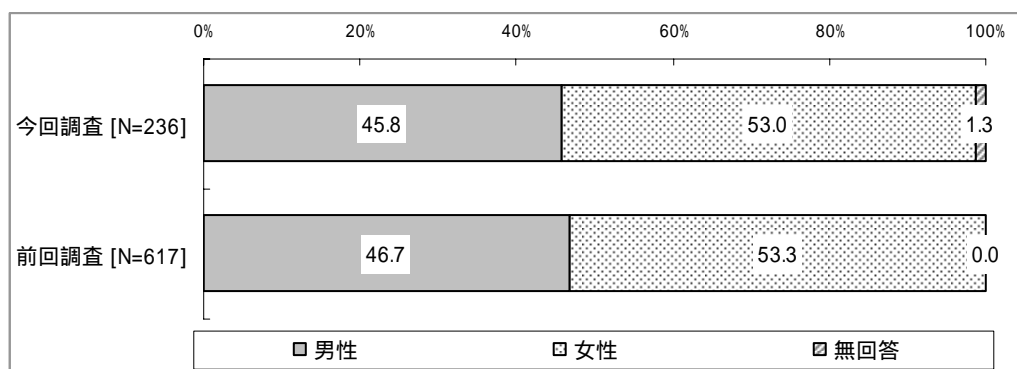
図表 III-130 小学校区



(2) 性別

性別は、「男性」が 45.8%、「女性」が 53.0%となっています。

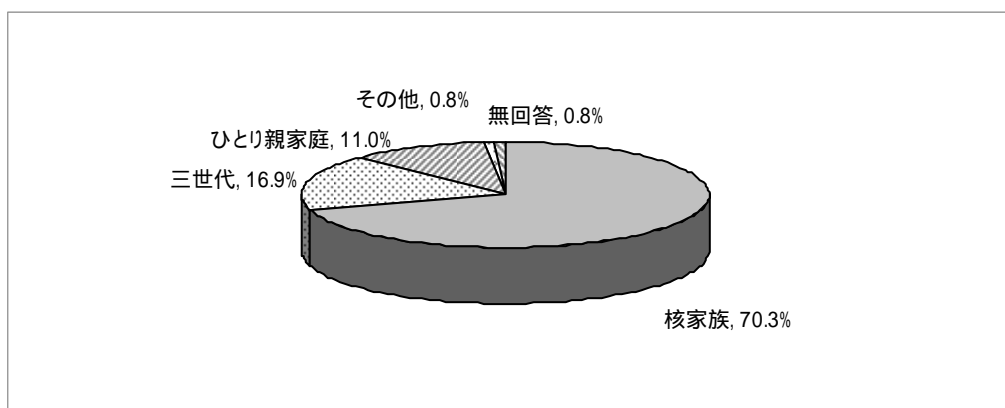
図表 III-131 性別



(3) 家族構成

家族構成は、「核家族」の割合が最も高く70.3%、次いで、「三世代」(16.9%)、「ひとり親家庭」(11.0%)の順に高い割合となっています。

図表 III-132 家族構成[N=236]

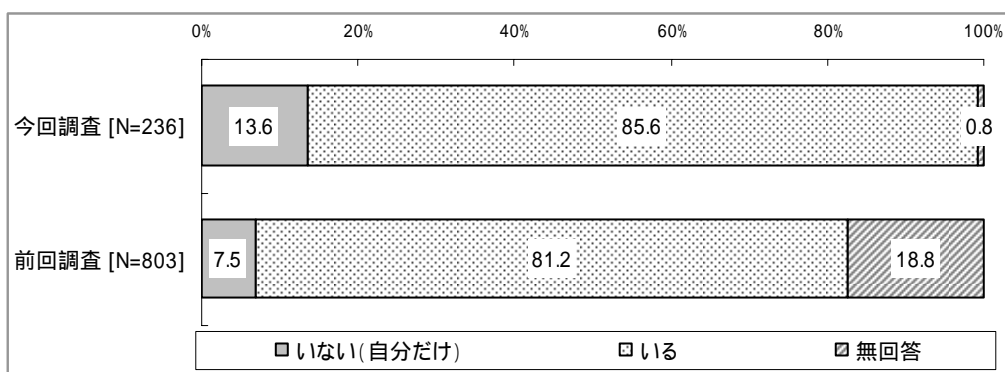


(4) きょうだいの有無

きょうだいの有無については、「いる」という人が85.6%、「いない(自分だけ)」という人が13.6%となっています。

前回調査と比較すると、「いない(自分だけ)」という人の割合が6.1ポイント上昇しています。

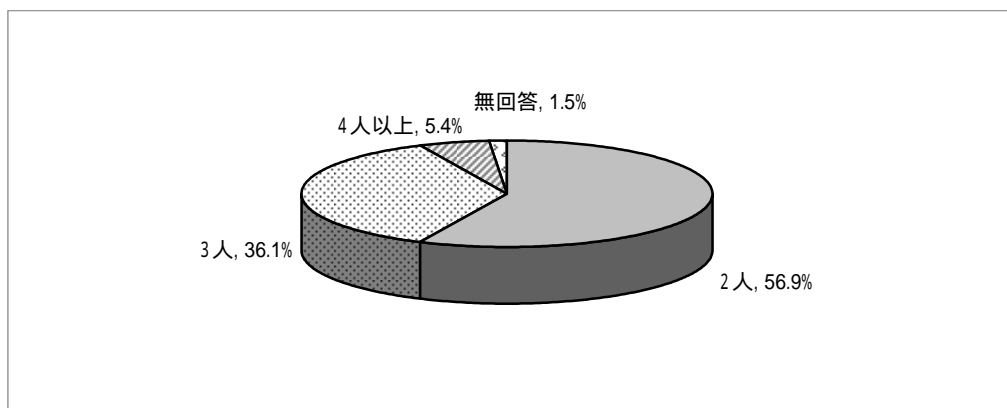
図表 III-133 きょうだいの有無



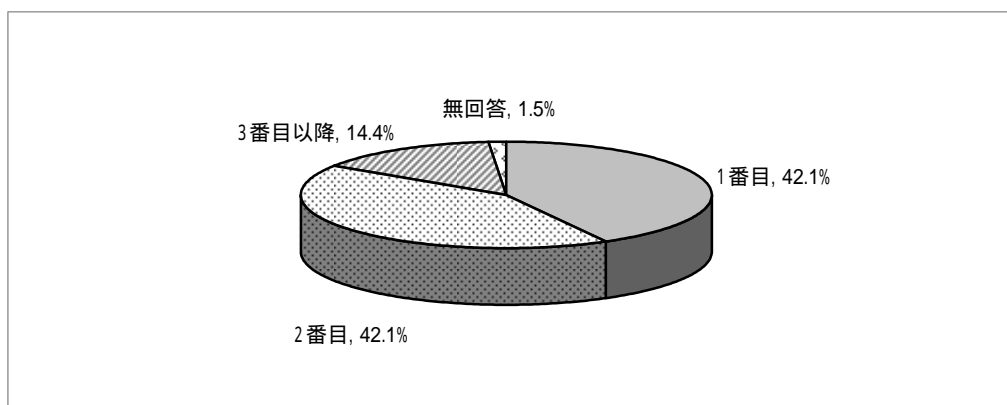
前回の回答者は、中学2年生の保護者である。

きょうだいが「いる」と回答した人に、きょうだいの人数を聞いたところ、「2人」の割合が最も高く 56.9%、次いで、「3人」の割合が高く 36.1%となっています。また、きょうだいの何番目かについては、「1番目」「2番目」の割合がいずれも 42.1%と最も高くなっています。

図表 III-134 きょうだいの人数[N=202]



図表 III-135 きょうだいの何番目[N=202]

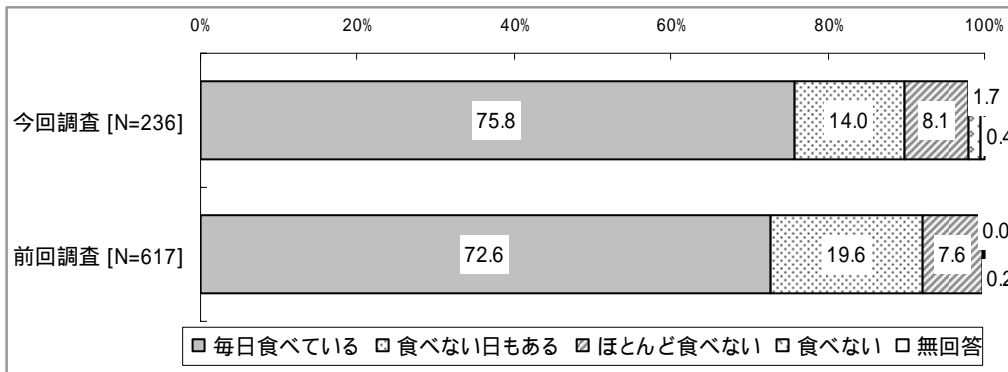


2. 家庭での様子

(1) 朝食の頻度

朝食をとる頻度を聞いたところ、「毎日食べている」という人の割合が最も高く 75.8%、次いで、「食べない日もある」という人の割合が高く 14.0%となっています。「ほとんど食べない」という人の割合も 8.1%となっています。前回調査と比較すると、「毎日食べている」という人の割合が 3.2 ポイント上昇しています。

図表 III-136 朝食をとる頻度

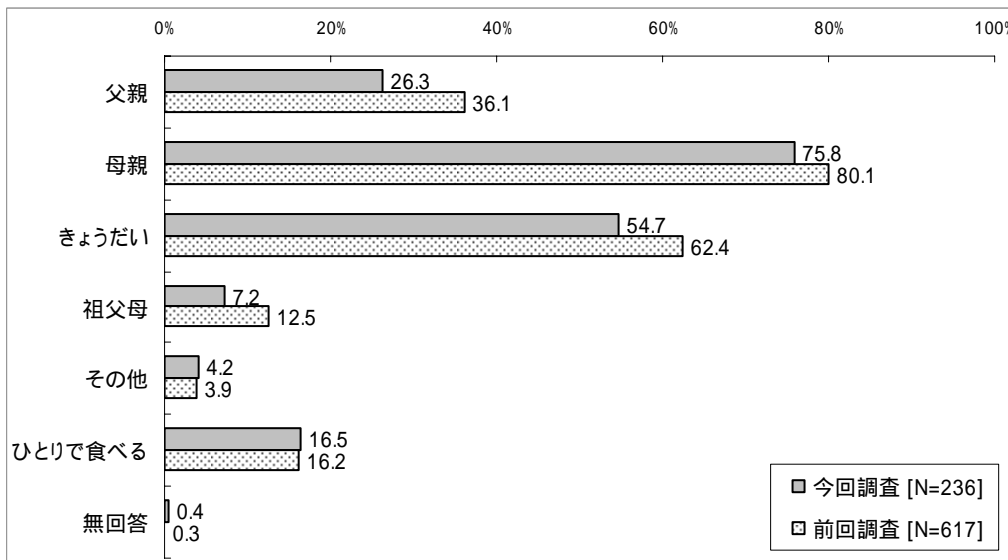


「食べない」は、今回調査のみの選択肢である。

(2) 家族とのかかわり

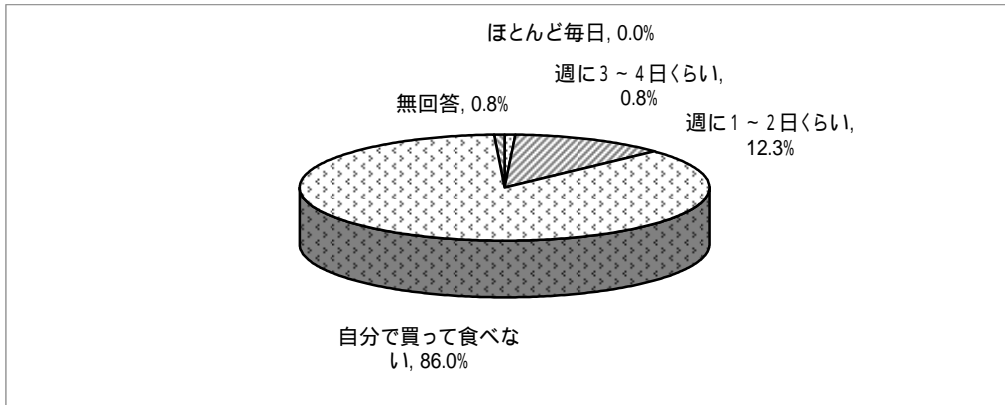
夕食をだれと食べることが多いか聞いたところ、「母親」の割合が最も高く 75.8%、次いで、「きょうだい」の割合が高く 54.7%となっています。また、「父親」の割合は 26.3%となっています。

図表 III-137 夕食をだれと食べる人が多いか[複数回答]



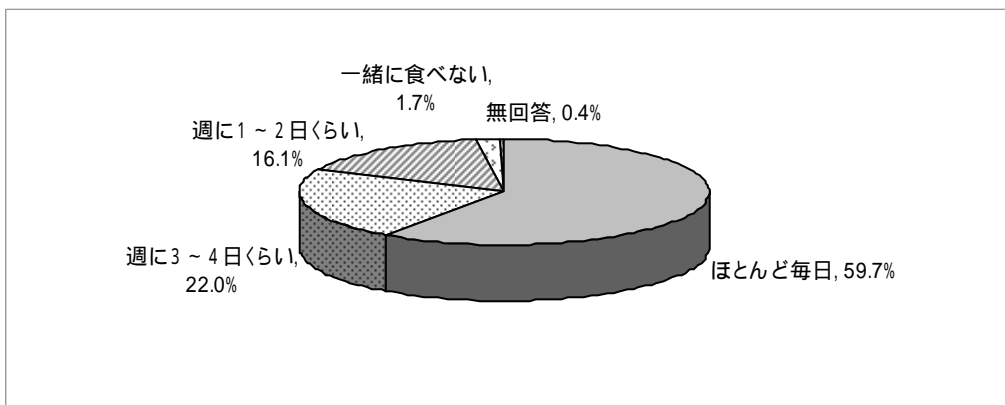
夕食を自分で買って食べることがあるか聞いたところ、「自分で買って食べない」という人が大半を占めており、86.0%となっています。また、「週に1～2日くらい」という人の割合は12.3%となっています。

図表 III-138 夕食を自分で買って食べるか[N=236]



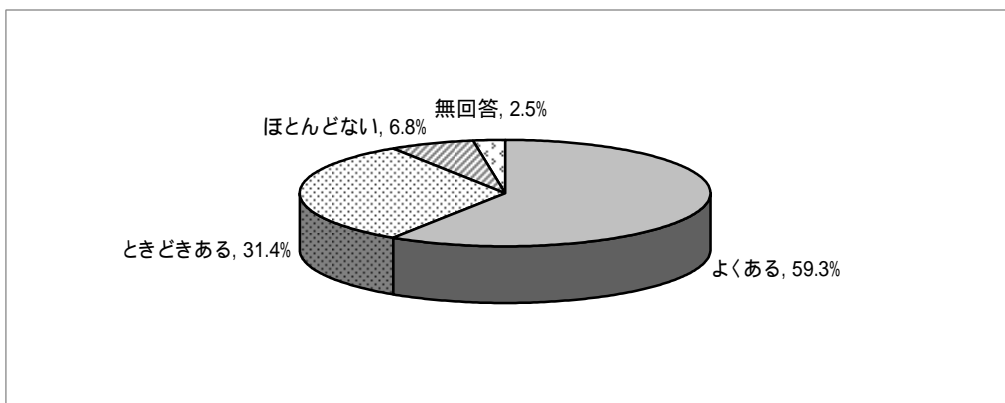
家族と一緒に食事をする頻度を聞いたところ、「ほとんど毎日」の割合が最も高く59.7%、次いで、「週に3～4日くらい」の割合が高く22.0%となっています。

図表 III-139 家族と一緒に食事をする頻度[N=236]



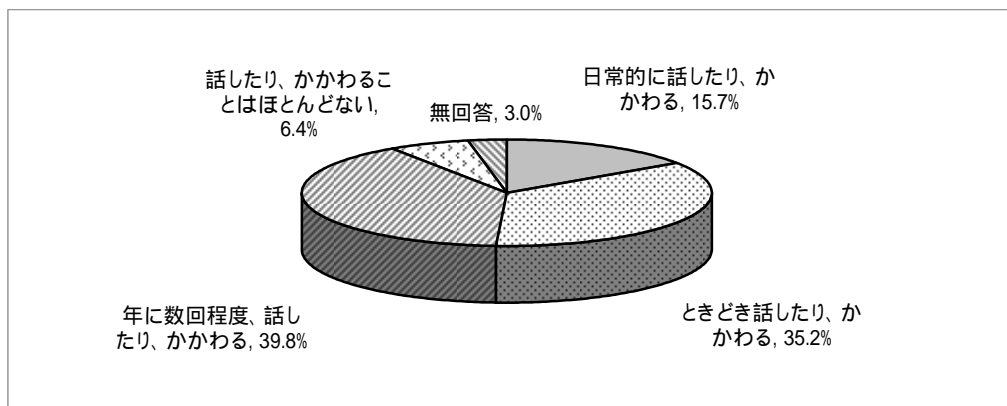
家族が集まって何か一緒にする頻度を聞いたところ、「よくある」という人の割合が最も高く59.3%、次いで、「ときどきある」という人の割合が高く31.4%となっています。

図表 III-140 家族が集まって何か一緒にする頻度[N=236]



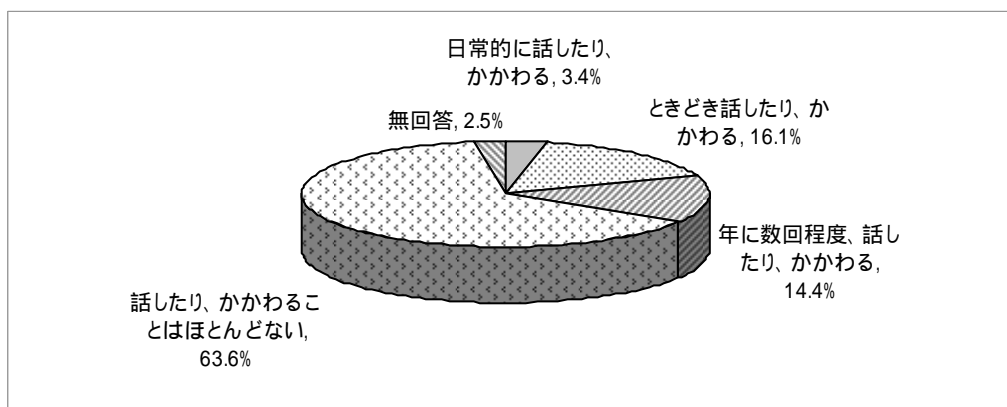
自分の祖父母と話したり、かかわる頻度を聞いたところ、「年に数回程度、話したり、かかわる」(39.8%)、「ときどき話したり、かかわる」(35.2%)、「日常的に話したり、かかわる」(15.7%)の順に高い割合となっています。

図表 III-141 自分の祖父母と話したり、かかわる頻度[N=236]



一方、地域の高齢者と話したりかかわる頻度を聞いたところ、「話したり、かかわることはほとんどない」という人の割合が最も高く 63.6%、次いで、「ときどき話したり、かかわる」(16.1%)、「年に数回程度話したり、かかわる」(14.4%)の順に高い割合となっています。

図表 III-142 地域の高齢者と話したり、かかわる頻度[N=236]

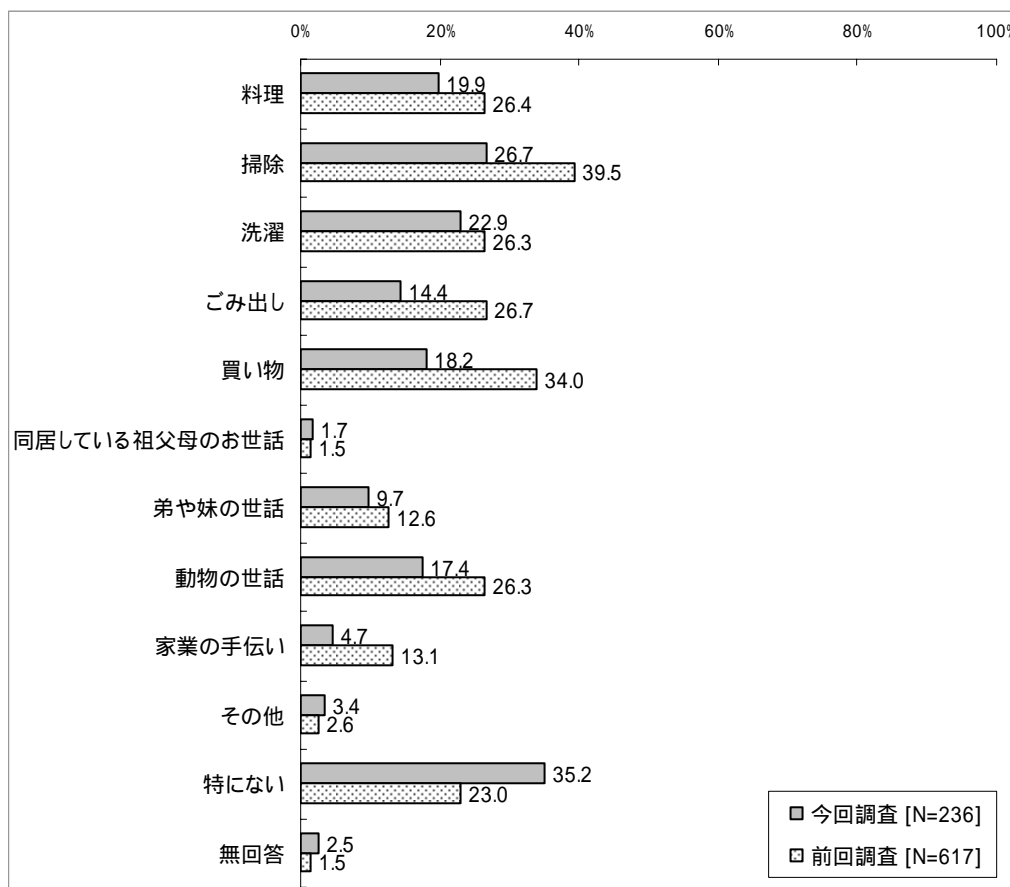


(3) 家の手伝い

普段している家のお手伝いを聞いたところ、「特にない」の割合が35.2%と最も高く、次いで、「掃除」(26.7%)、「洗濯」(22.9%)の順に高い割合となっています。

前回調査と比較すると、「特にない」という人の割合が12.2ポイント上昇しており、何らかの手伝いをしている人の割合は概ね低下傾向にあります。

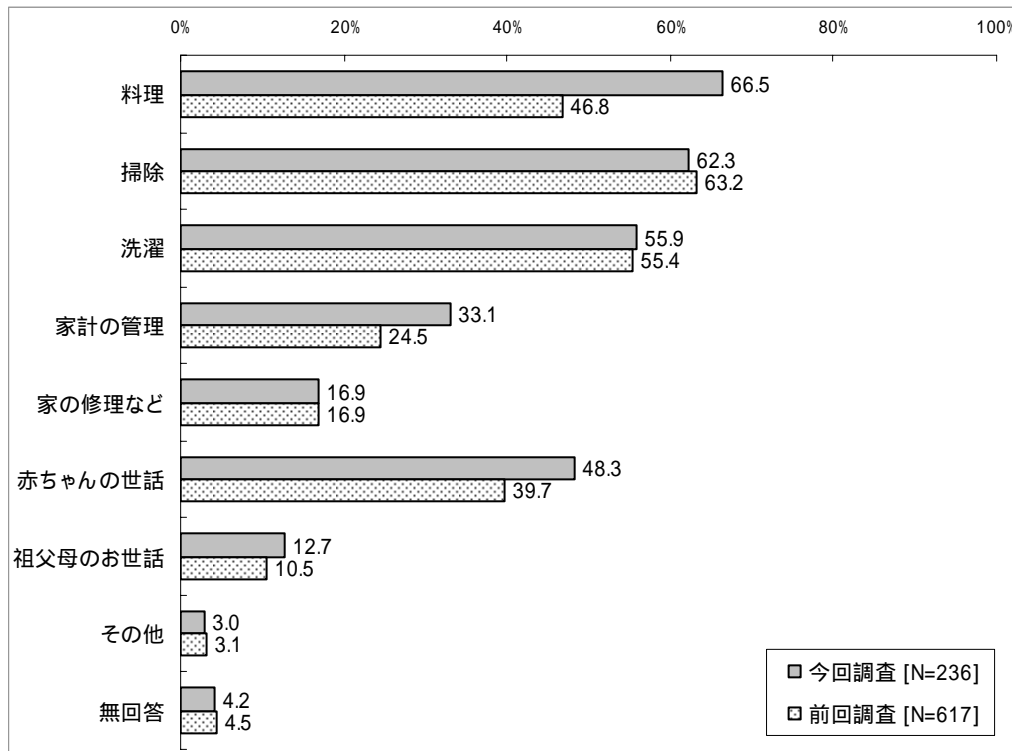
図表 III-143 家のお手伝い[複数回答]



将来、自立したり、家庭をもった時に、積極的にできる（しようと思う）家事を聞いたところ、「料理」の割合が最も高く 66.5%、次いで、「掃除」（62.3%）、「洗濯」（55.9%）の順に高い割合となっています。

前回調査と比較すると、「料理」（+19.7 ポイント）、「家計の管理」（+8.6 ポイント）、「赤ちゃんの世話」（+8.6 ポイント）の割合が上昇しています。

図表 III-144 将来、積極的にできる家事[複数回答]



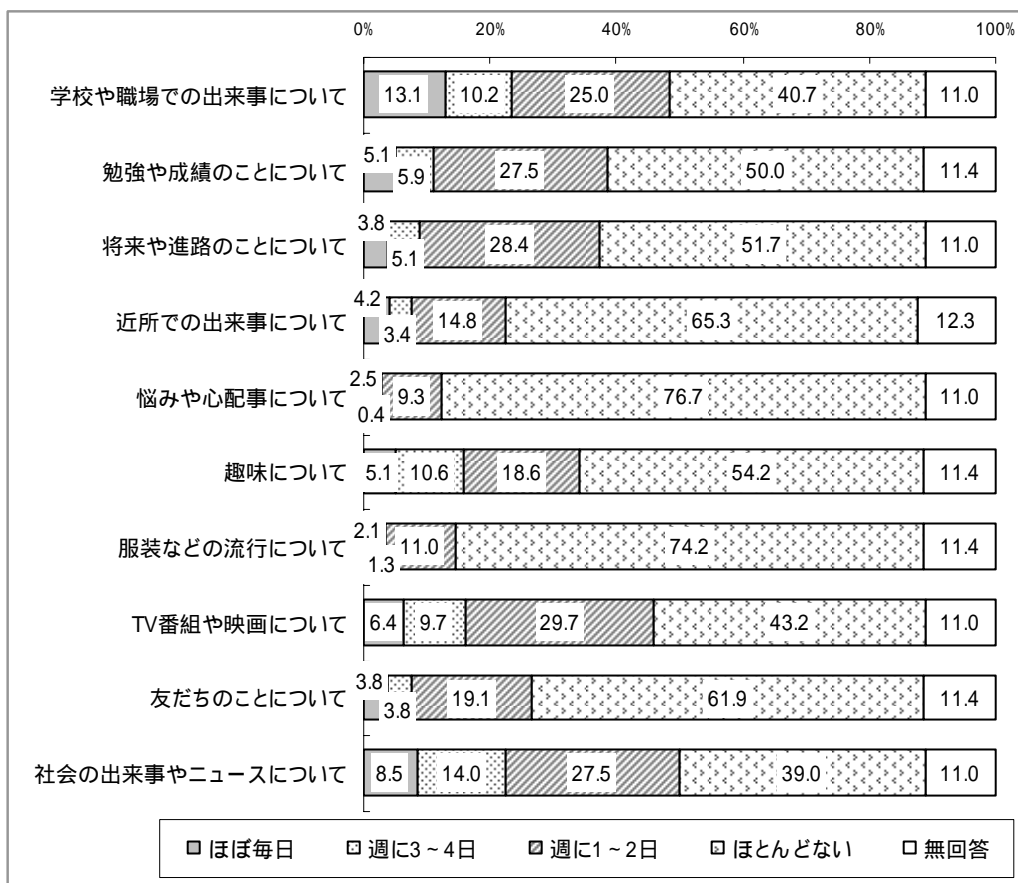
前回調査では、「将来自立したり、家庭をもつとき、できる自信のある家事はどれですか」という設問になっている。
 前回調査では、「祖父母のお世話」は「同居している高齢者の世話」となっている。

(4) 親子関係

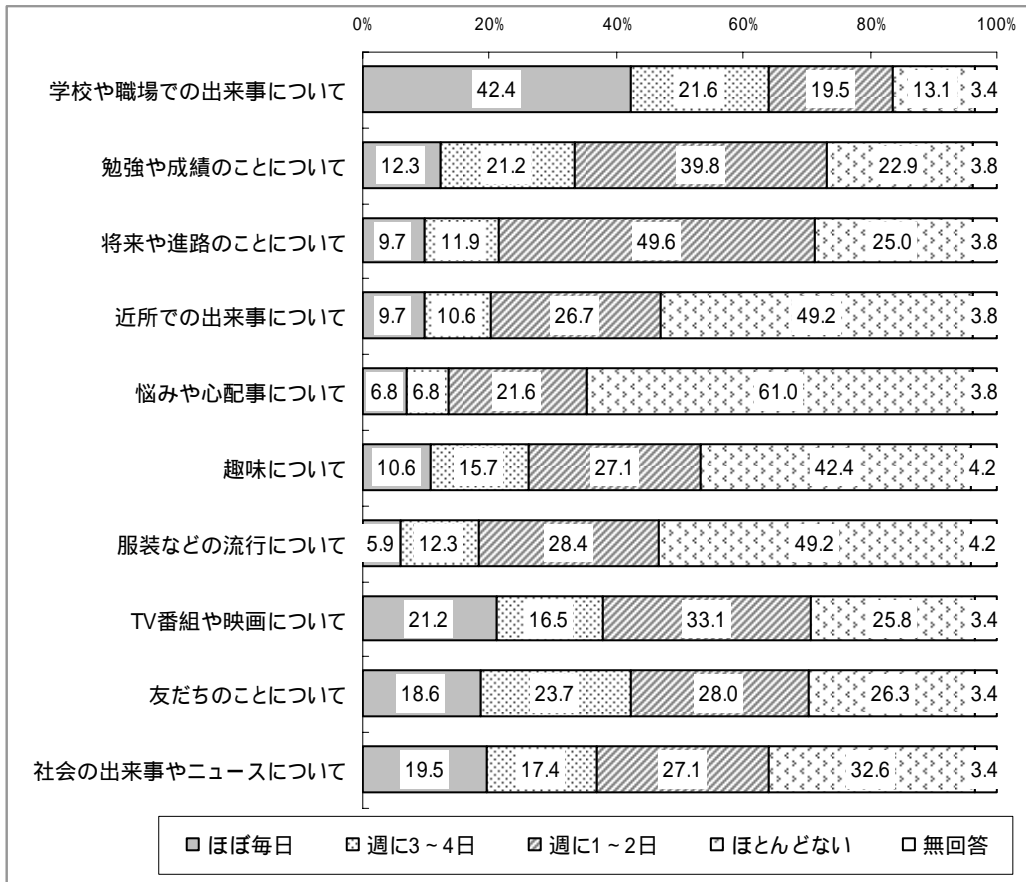
父親との会話の頻度について聞いたところ、いずれの内容も「ほぼ毎日」という人の割合は約1割以下となっています。「学校や職場での出来事について」「TV番組や映画について」「社会の出来事やニュースについて」では、他の内容に比べて会話の頻度が高くなっています。一方、「悩みや心配事について」「服装などの流行について」では会話の頻度が低くなっており、では、「ほとんどない」という人の割合が76.7%となっています。

母親との会話の頻度を聞いたところ、全体的に父親よりも頻度の高い人の割合が高くなっています。「学校や職場での出来事について」は、他の内容に比べても会話の頻度が高くなっており、「ほぼ毎日」という人の割合が42.4%となっています。一方、「悩みや心配事について」では、会話の頻度が低くなっており、「ほとんどない」という人の割合が61.0%となっています。

図表 III-145 父親との会話の頻度[N=236]

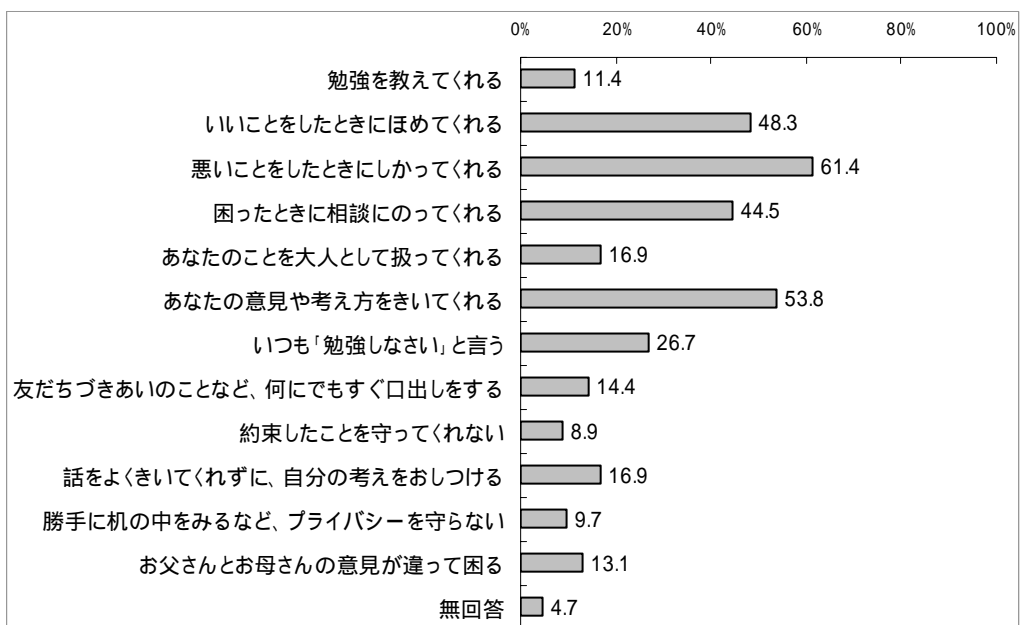


図表 III-146 母親との会話の頻度[N=236]



親との関係について聞いたところ、「悪いことをしたときにしかってくれる」(61.4%)、「あなたの意見や考え方をきいてくれる」(53.8%)という人の割合が高くなっています。

図表 III-147 親との関係[N=236 ; 複数回答]

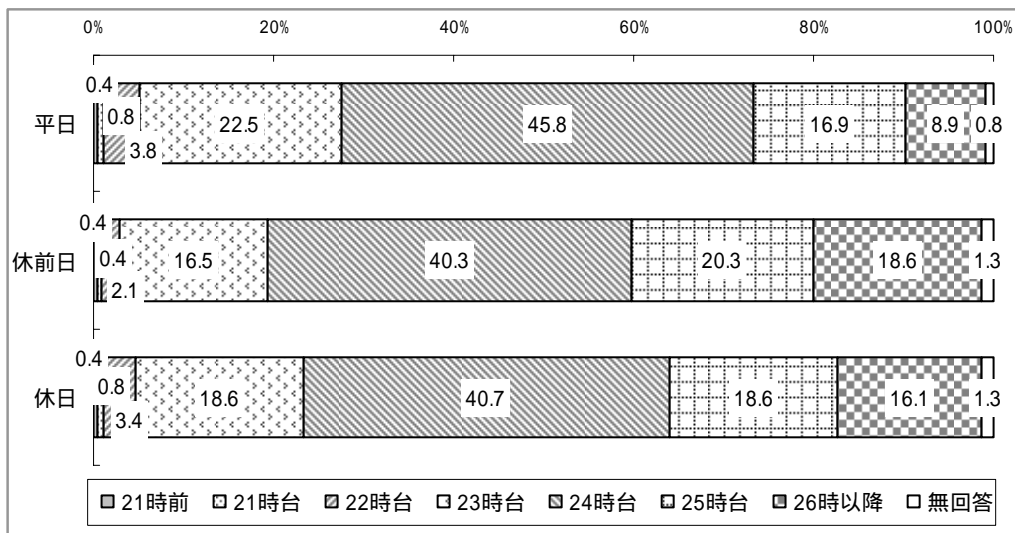


3. 普段の生活の様子

(1) 基本生活時間

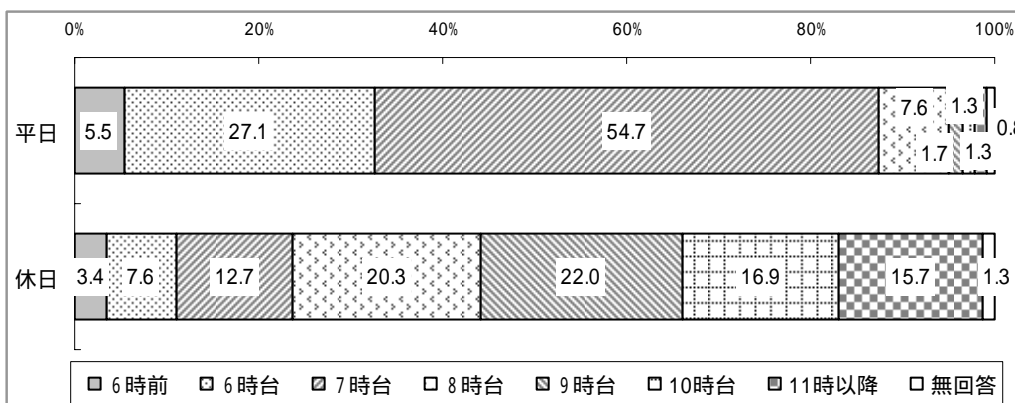
平日の就寝時間は、「24 時台」(45.8%)、「23 時台」(22.5%)の順に高い割合となっています。休前日の就寝時間は、「24 時台」(40.3%)、「25 時台」(20.3%)の順に高い割合となっています。休日の就寝時間は、「24 時台」(40.7%)、「23 時台」「25 時台」(いずれも 18.6%)の順に高い割合となっています。休前日や休日では、平日に比べて就寝時間が遅くなっており、「26 時以降」の割合が平日では 8.9%であるのに対し、休前日では 18.6%、休日では 16.1%となっています。

図表 III-148 平日・休前日・休日の就寝時間[N=236]



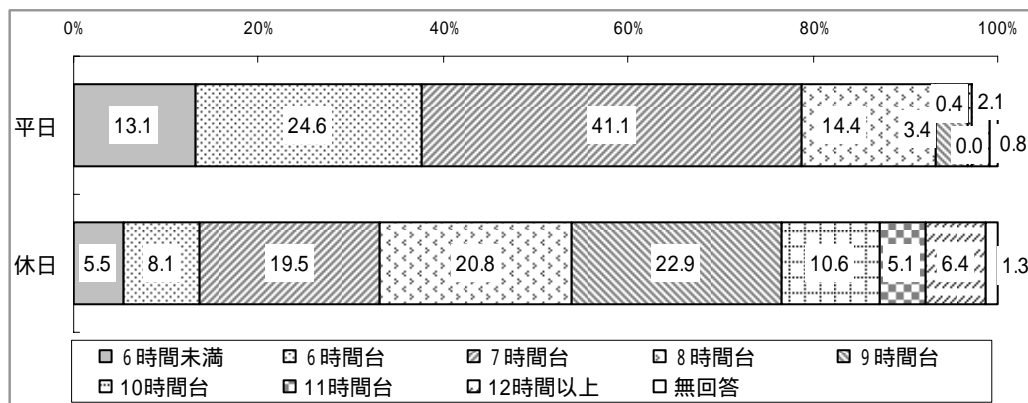
平日の起床時間は、「7 時台」の割合が最も高く 54.7%、次いで、「6 時台」の割合が高く 27.1%となっています。休日の起床時間は平日に比べて分散しており、割合の高い順に、「9 時台」(22.0%)、「8 時台」(20.3%)、「10 時台」(16.9%)となっています。休日は平日に比べて起床時間が遅くなっています。

図表 III-149 平日・休日の起床時間[N=236]



休日の睡眠時間は、「7時間台」の割合が最も高く41.1%、次いで、「6時間台」の割合が高く24.6%となっています。休日の睡眠時間は平日に比べて分散しており、割合の高い順に、「9時間台」(22.9%)、「8時間台」(20.8%)、「7時間台」(19.5%)となっています。休日は平日に比べて睡眠時間が長くなっており、「11時間台」の割合は5.1%、「12時間台」の割合は6.4%となっています。

図表 III-150 平日・休日の睡眠時間[N=236]



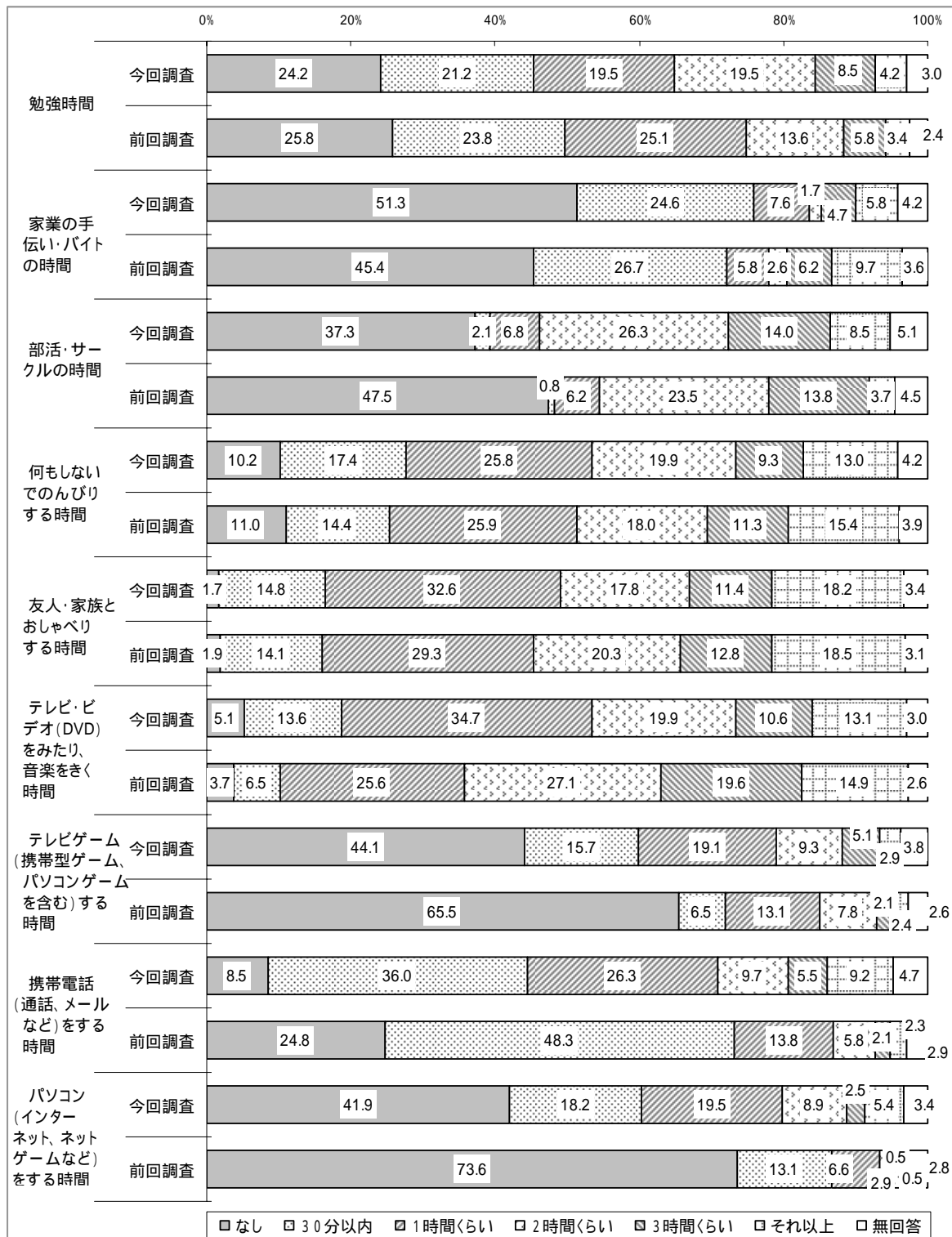
平日の勉強や遊びの時間を聞いたところ、割合の高い時間をみると、「部活・サークルの時間」「テレビゲーム（携帯型ゲーム、パソコンゲームを含む）する時間」「パソコン（インターネット、ネットゲームなど）をする時間」はなし、「勉強時間」「家業の手伝い・バイトの時間」は30分以内、「携帯電話（通話、メールなど）をする時間」は30分～1時間、「何もしないでのんびりする時間」「友人・家族とおしゃべりする時間」「テレビ・ビデオ（DVD）をみたり、音楽をきく時間」は1～2時間という人の割合が高くなっています。また、「それ以上」（3時間以上）という人の割合が高い項目としては、で、約2割を占めています。

前回調査と比較すると、では全体的に時間が長くなっており、では全体的に時間が短くなっています。

休日の勉強や遊びの時間を聞いたところ、割合の高い時間をみると、「勉強時間」「家業の手伝い・バイトの時間」「部活・サークルの時間」「テレビゲーム（携帯型ゲーム、パソコンゲームを含む）する時間」「パソコン（インターネット、ネットゲームなど）をする時間」はなし、「携帯電話（通話、メールなど）をする時間」は30分～1時間、「友人・家族とおしゃべりする時間」は1～2時間、「何もしないでのんびりする時間」では3時間以上という人の割合が高くなっています。また、「テレビ・ビデオ（DVD）をみたり、音楽をきく時間」では、割合が比較的分散しています。

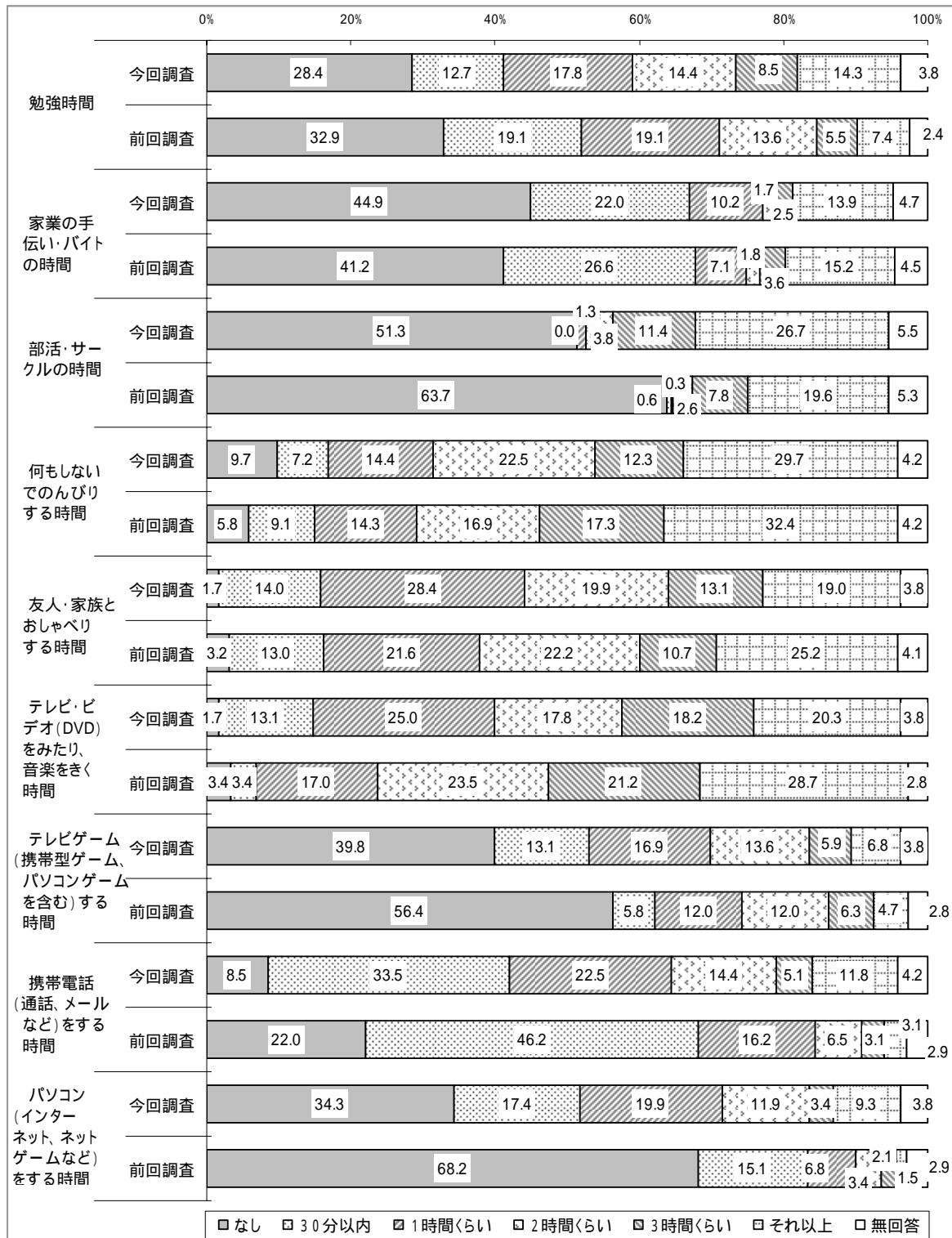
前回調査と比較すると、では全体的に時間が長くなっており、では全体的に時間が短くなっています。また、では、「2時間くらい」の割合は上昇しているのに対し、その前後の時間の割合は低下しています。では、「1時間くらい」「3時間くらい」の割合が上昇しているのに対し、「2時間くらい」「それ以上」の割合が低下しています。

図表 III-151 平日の学校や職業以外の勉強や遊びの時間[今回調査 N=236、前回調査 N=617]



前回調査は、「テレビ・ビデオ(DVD)をみたり、音楽をきく時間」は「テレビ・ビデオを見る時間」、「テレビゲーム(携帯型ゲーム、パソコンゲームを含む)する時間」は「テレビゲームをする時間」、「携帯電話(通話、メールなど)をする時間」は「電話・携帯電話をしている時間」、「パソコン(インターネット、ネットゲームなど)をする時間」は「インターネットをしている時間」となっている。

図表 III-152 休日の学校や職業以外の勉強や遊びの時間[今回調査 N=236、前回調査 N=617]

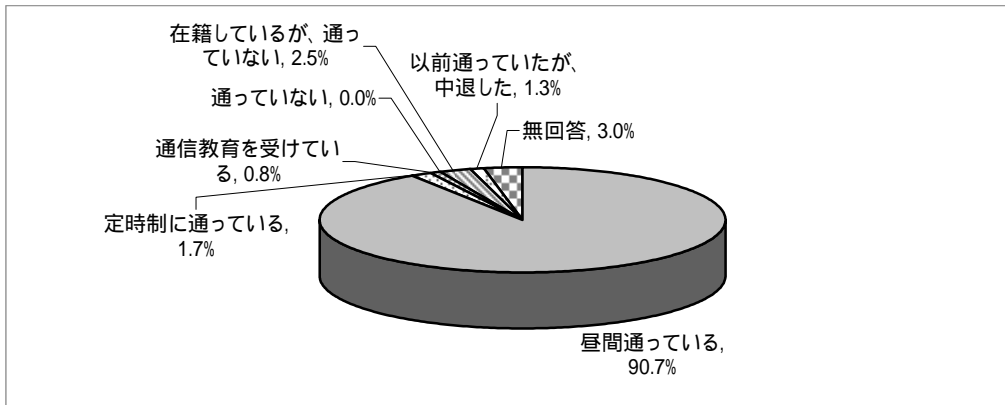


前回調査は、「テレビ・ビデオ(DVD)をみたり、音楽をきく時間」は「テレビ・ビデオを見る時間」、「テレビゲーム(携帯型ゲーム、パソコンゲームを含む)をする時間」は「テレビゲームをする時間」、「携帯電話(通話、メールなど)をする時間」は「電話・携帯電話をしている時間」、「パソコン(インターネット、ネットゲームなど)をする時間」は「インターネットをしている時間」となっている。

(2) 学校生活

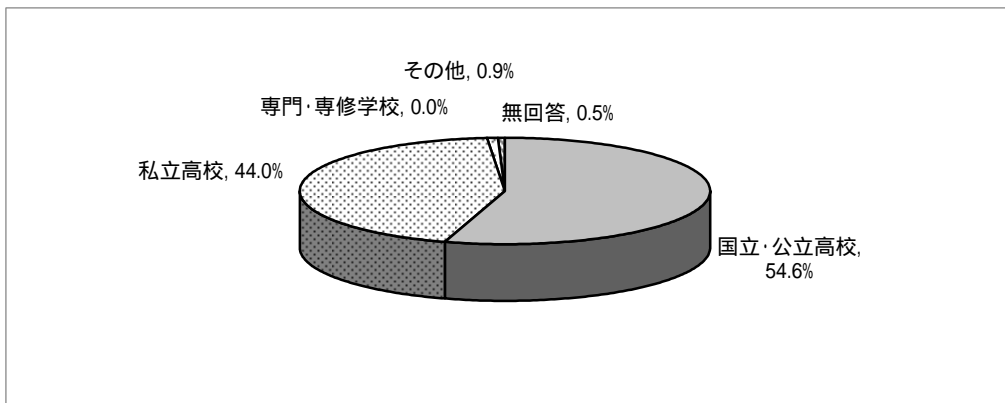
現在、学校に通っているか聞いたところ、「昼間通っている」という人が大半を占めており、90.7%となっています。

図表 III-153 現在、学校に通っているか[N=236]



現在の通学状況について、「昼間通っている」「定時制に通っている」と回答した人に、現在通っている学校を聞いたところ、「国立・公立高校」(54.6%)、「私立高校」(44.0%)の順に高い割合となっています。

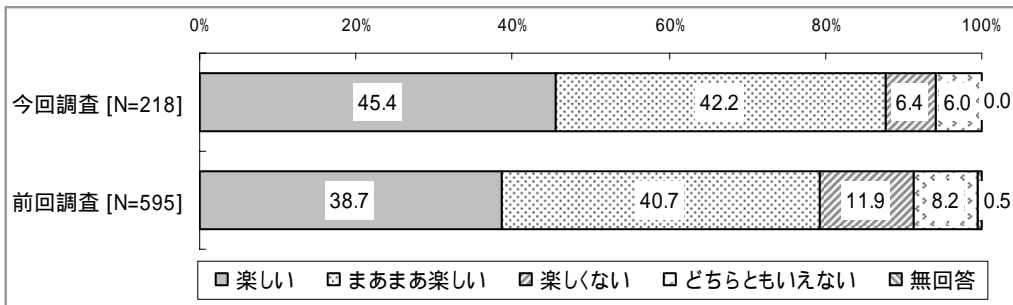
図表 III-154 現在通っている学校[N=218]



現在の通学状況について、「昼間通っている」「定時制に通っている」と回答した人に、現在の学校生活は楽しいか聞いたところ、「楽しい」(45.4%)「まあまあ楽しい」(42.2%)の順に高い割合となっています。

前回調査と比較すると、「楽しい」という人の割合が6.7ポイント上昇しており、「楽しくない」という人の割合が5.5ポイント低下しています。

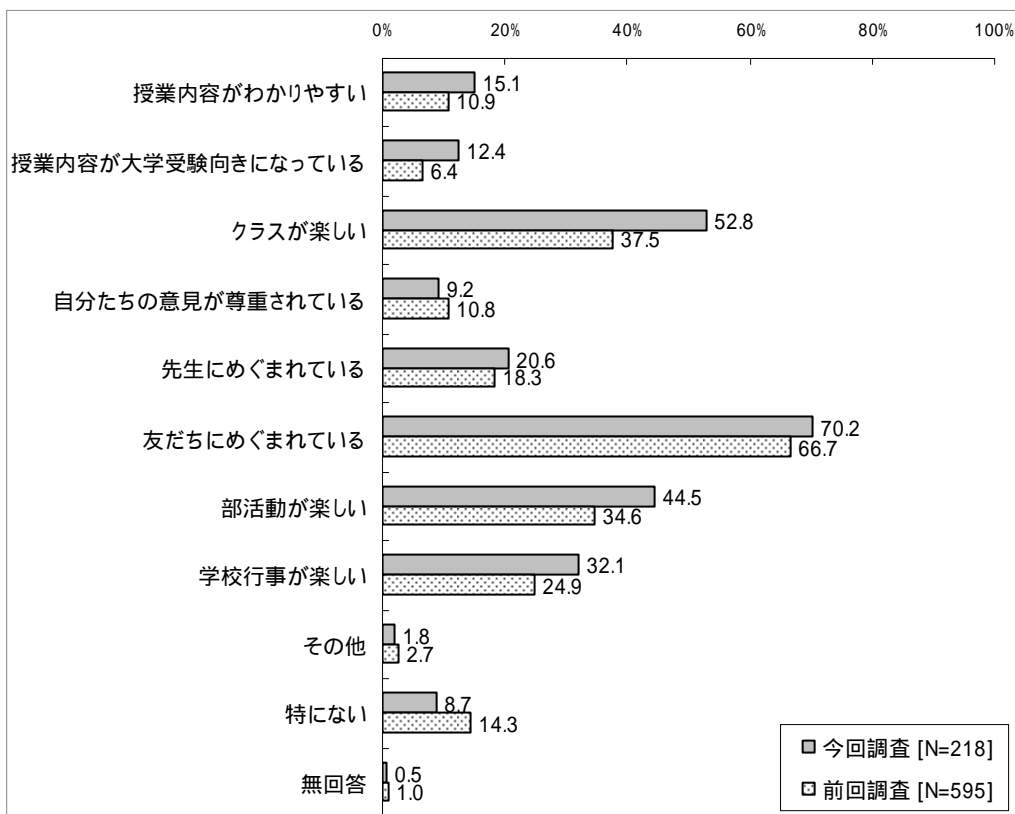
図表 III-155 現在の学校生活は楽しいか



現在の通学状況について、「昼間通っている」「定時制に通っている」と回答した人に、学校生活で満足しているところを聞いたところ、「友だちにめぐまれている」という人の割合が最も高く70.2%、次いで、「クラスが楽しい」という人の割合が高く52.8%となっています。

前回調査と比較すると、「特にない」という人の割合が5.6ポイント低下しており、何らか満足していることがある人の割合は概ね上昇傾向にあります。

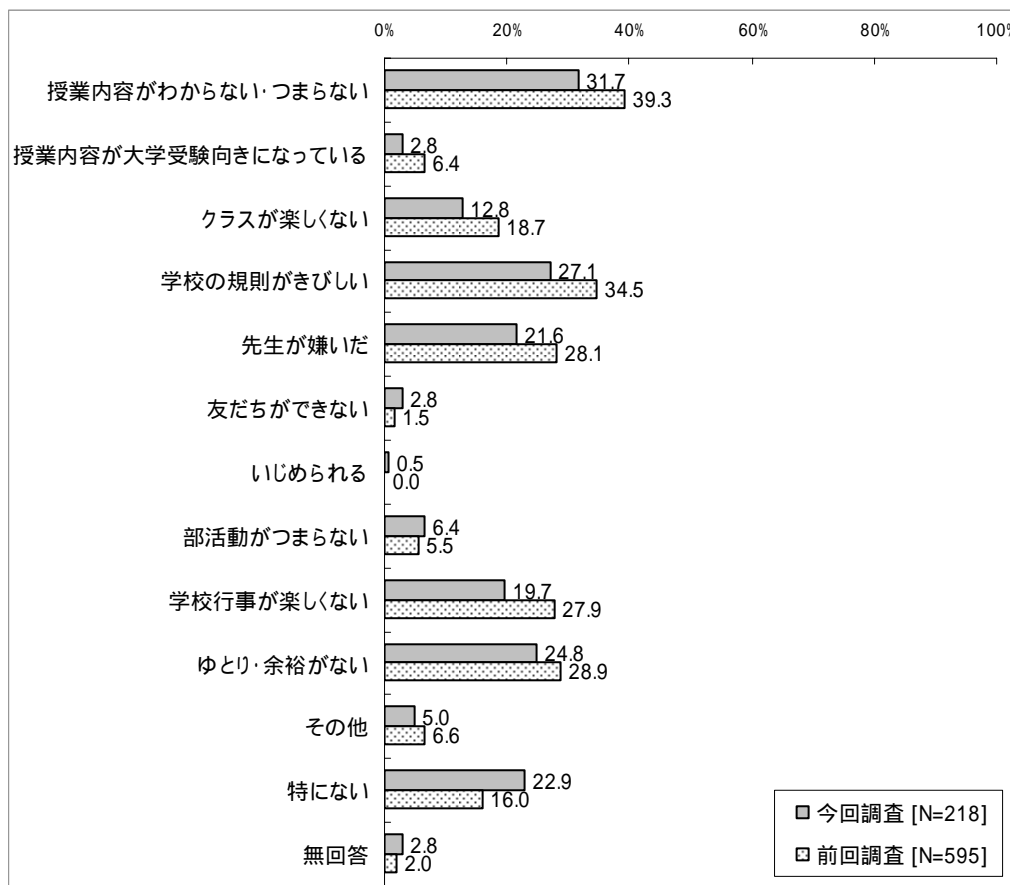
図表 III-156 学校生活で満足しているところ[複数回答]



現在の通学状況について、「昼間通っている」「定時制に通っている」と回答した人に、学校生活で不満に思っているところを聞いたところ、「授業内容がわからない・つまらない」(31.7%)、「学校の規則がきびしい」(27.1%)の順に高い割合となっています。

前回調査と比較すると、「特にない」という人の割合が6.9ポイント上昇しており、何らか不満に思っていることがある人の割合は概ね低下傾向にあります。

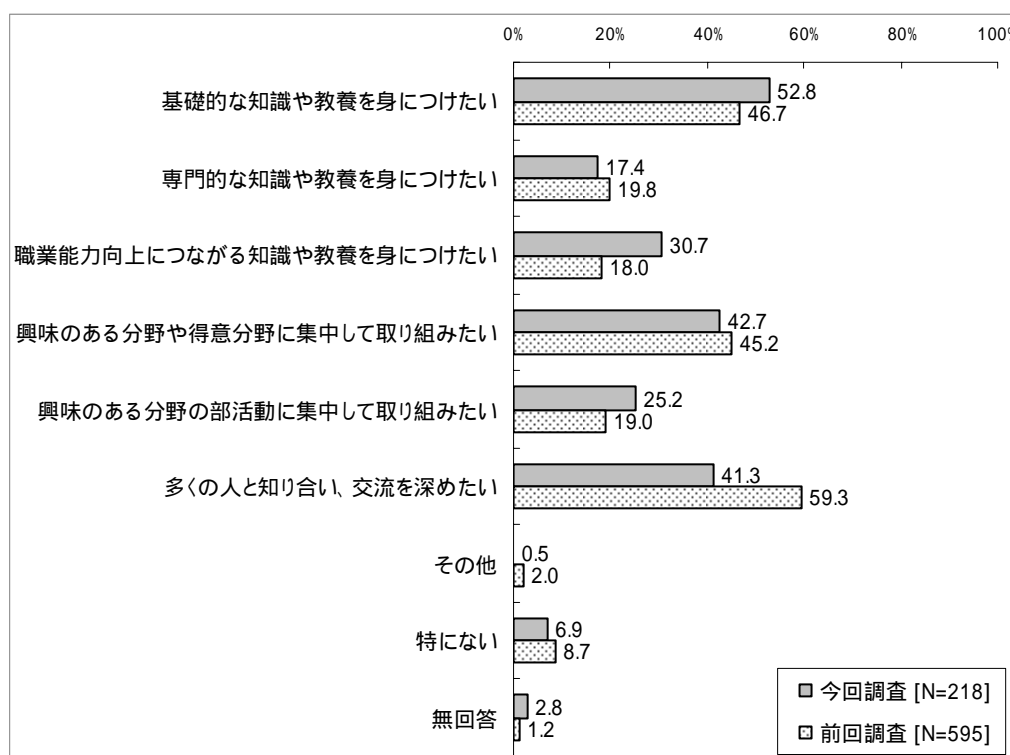
図表 III-157 学校生活で不満に思っているところ[複数回答]



現在の通学状況について、「昼間通っている」「定時制に通っている」と回答した人に、学校で学びたいこと、経験したいことを聞いたところ、「基礎的な知識や教養を身につけたい」という人の割合が最も高く 52.8%、次いで、「興味のある分野や得意分野に集中して取り組みたい」(42.7%)、「多くの人と知り合い、交流を深めたい」(41.3%)の順に高い割合となっています。

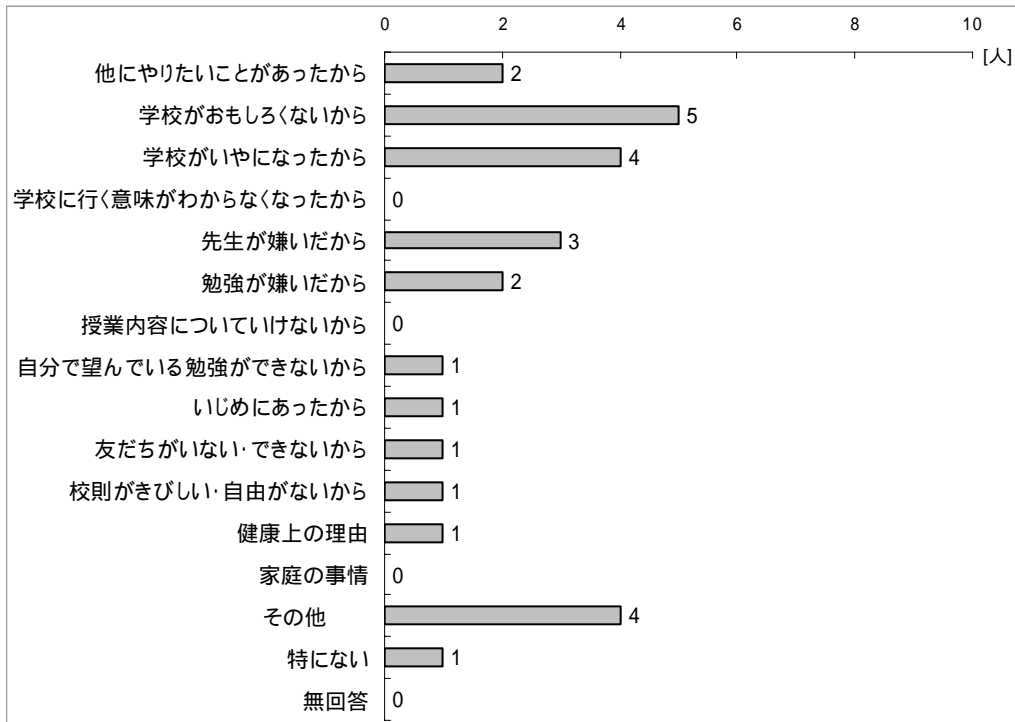
前回調査と比較すると、「職業能力向上につながる知識や教養を身につけたい」という人の割合は 12.7 ポイント上昇しており、「多くの人と知り合い、交流を深めたい」という人の割合は 18.0 ポイント低下しています。

図表 III-158 学校で学びたいこと、経験したいこと[複数回答]



現在の通学状況について、「在籍しているが、通っていない」「以前通っていたが、中退した」と回答した人に、学校に通わなくなった理由を聞いたところ、「学校がおもしろくないから」という人は5人、「学校がいやになったから」という人が4人となっています。

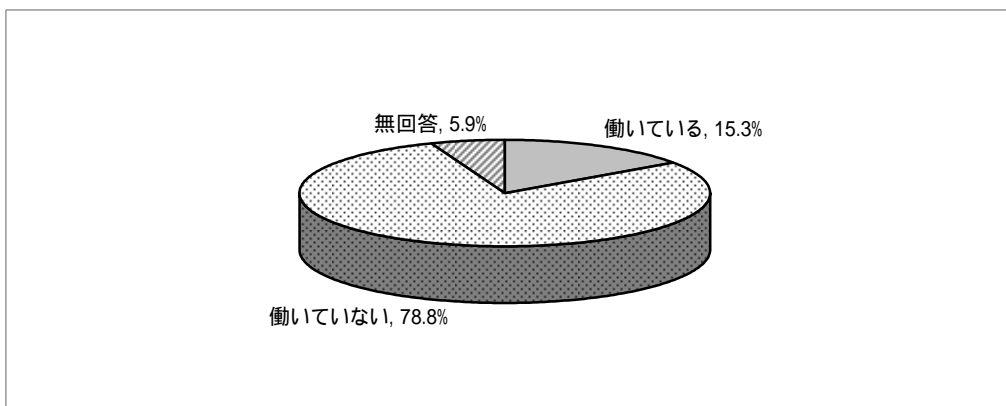
図表 III-159 学校に通わなくなった理由[N=9；複数回答]



(3) 職業生活

現在、働いているか聞いたところ、「働いている」という人は15.3%、「働いていない」という人は78.8%となっています。

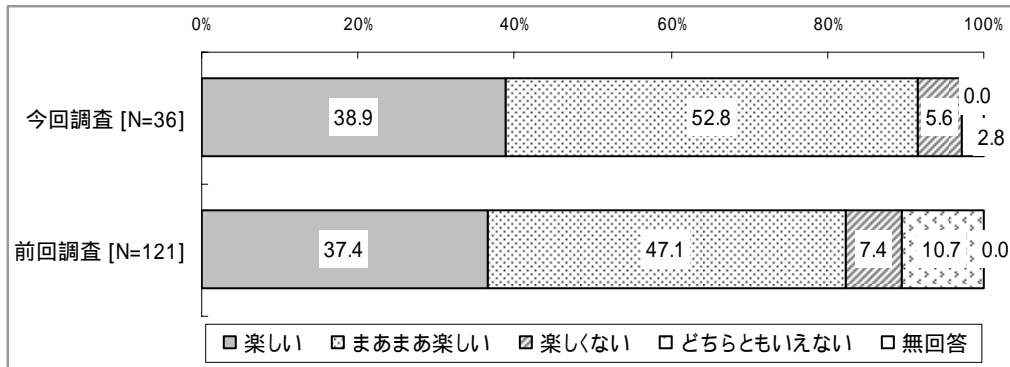
図表 III-160 現在、働いているか[N=236]



現在、「働いている」と回答した人に、現在の職業を聞いたところ、「パート、アルバイト、契約社員など」の割合が100.0%となっています。

また、現在の職業生活は楽しいか聞いたところ、「まあまあ楽しい」という人の割合が最も高く52.8%、次いで、「楽しい」という人の割合が高く38.9%となっています。前回調査と比較すると、「まあまあ楽しい」という人の割合が5.7ポイント上昇しており、「どちらともいえない」という人の割合が10.7ポイント低下しています。

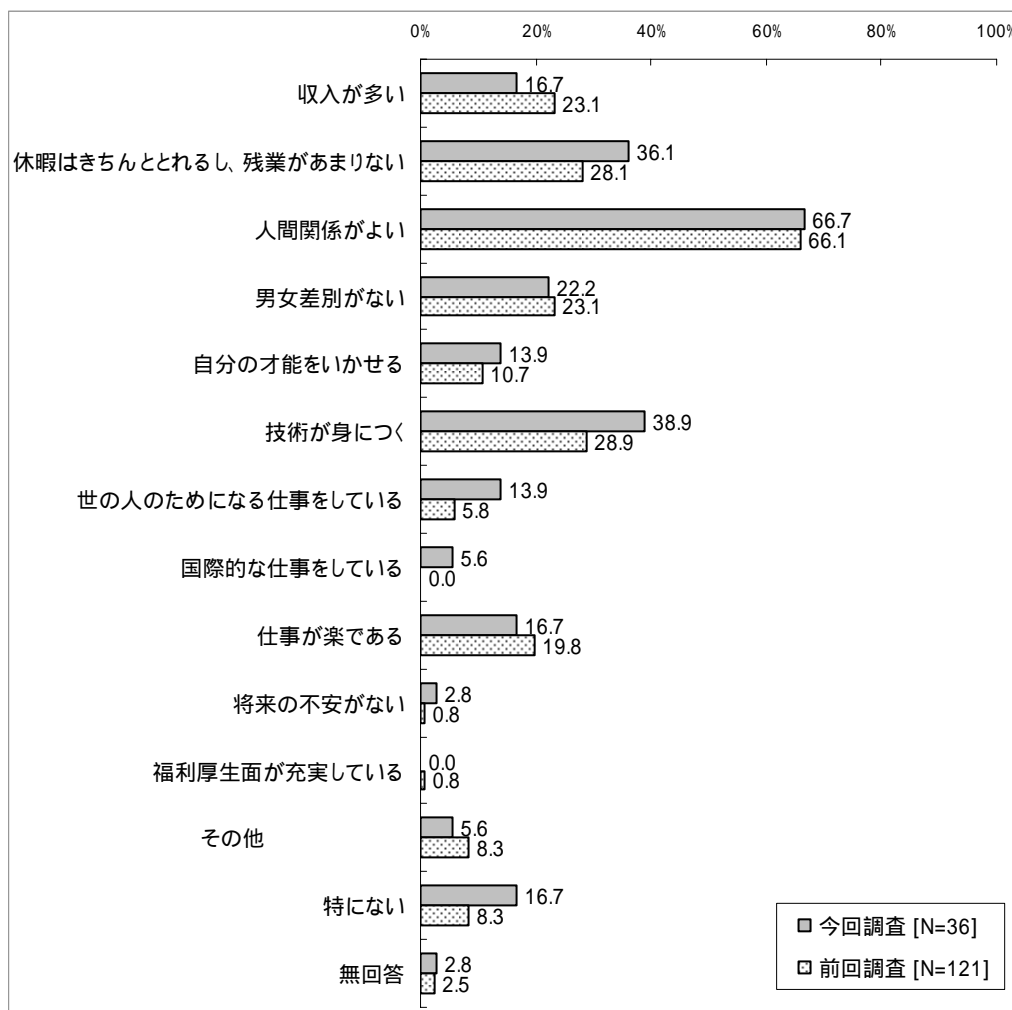
図表 III-161 現在の職業生活は楽しいか



現在、「働いている」と回答した人に、職業生活で満足しているところを聞いたところ、「人間関係がよい」という人の割合が最も高く 66.7%、次いで、「技術が身につく」(38.9%)、「休暇はきちんととれるし、残業があまりない」(36.1%)の順に高い割合となっています。

前回調査と比較すると、「収入が多い」(- 6.4 ポイント)、「仕事が好きである」(- 3.1 ポイント)を除くと、満足している人の割合は概ね上昇しています。一方で、「特にない」という人の割合も 8.4 ポイント上昇しています。

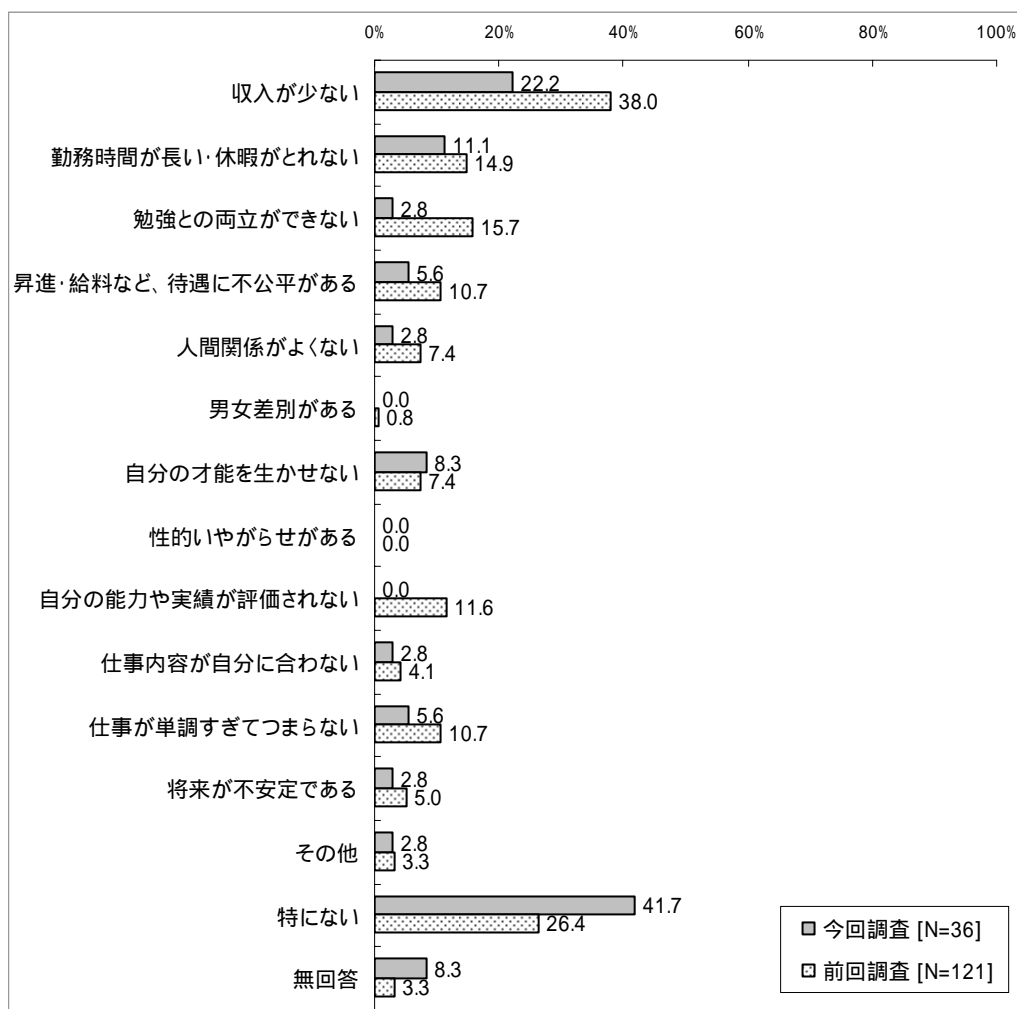
図表 III-162 職業生活で満足しているところ[複数回答]



職業生活で不満に思っているところを聞いたところ、「特にない」という人の割合が最も高く 41.7%、次いで、「収入が少ない」という人の割合が高く 22.2%となっています。

前回調査と比較すると、「特にない」という人の割合が 15.3 ポイント上昇しており、何らか不満に思っていることがある人の割合は概ね低下傾向にあります。

図表 III-163 職業生活で不満に思っているところ[複数回答]

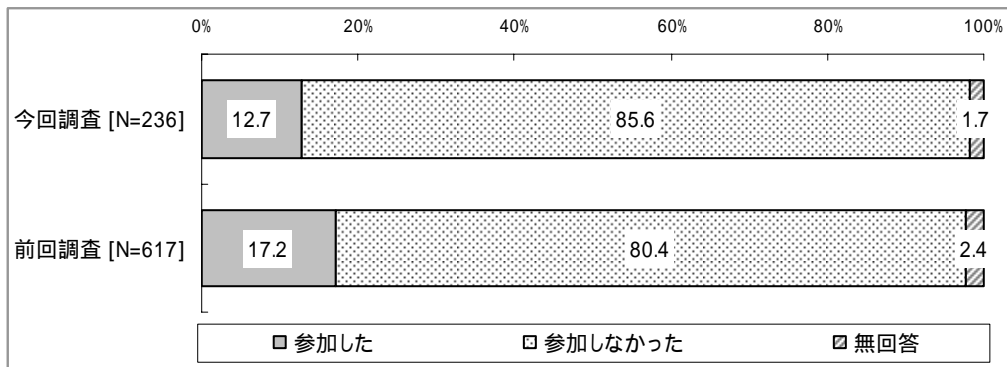


(4) 学校・職業以外の活動状況

この1年間の学校以外の団体、サークル活動への参加の有無を聞いたところ、「参加した」という人が12.7%、「参加しなかった」という人が85.6%となっています。前回調査と比較すると、

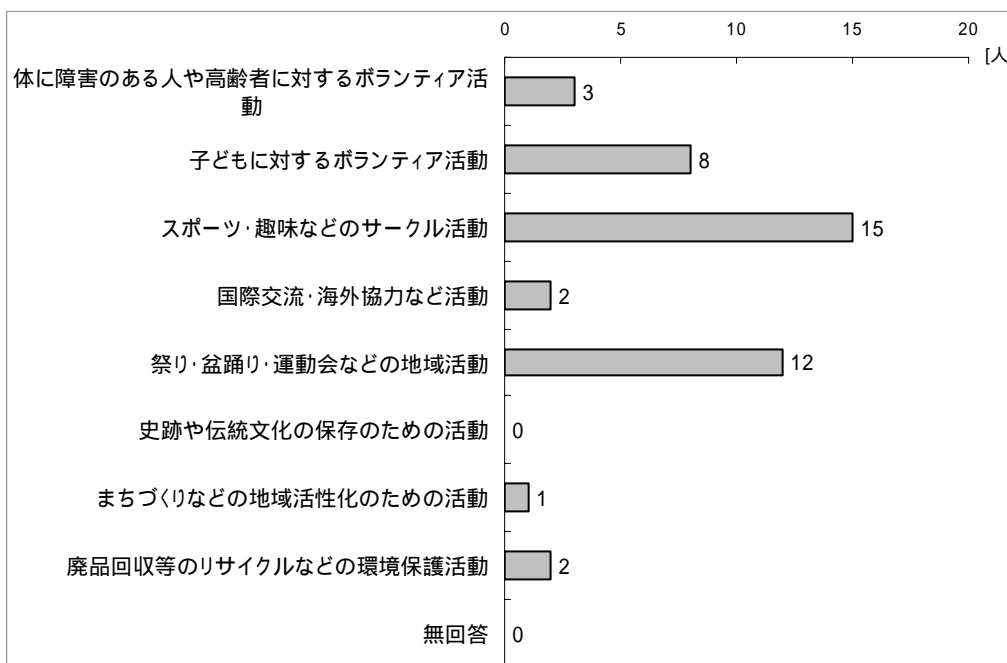
前回調査と比較すると、「参加した」という人の割合は4.5ポイント低下しており、「参加しなかった」という人の割合が5.2ポイント上昇しています。

図表 III-164 この1年間の学校以外の団体、サークル活動への参加の有無



この1年間に、学校以外の団体、サークル活動へ「参加した」と回答した人に、その活動内容を聞いたところ、「スポーツ・趣味などのサークル活動」という人が15人、「祭り・盆踊り・運動会などの地域活動」という人が12人となっています。

図表 III-165 参加した活動内容[N=30；複数回答]



この1年間に、学校以外の団体、サークル活動へ「参加した」と回答した人に、活動内容ごとに活動場所を聞いたところ、「体に障害のある人や高齢者に対するボランティア活動」「子どもに対するボランティア活動」「祭り、盆踊り・運動会などの地域活動」では「箕面市内」という人のほうが多く、「スポーツ・趣味などのサークル活動」では、「箕面市外」という人の方が多くなっています。

図表 III-166 活動場所[N=30]

	箕面市内	箕面市外	無回答
体に障害のある人や高齢者に対するボランティア活動 [N=3]	3	0	0
子どもに対するボランティア活動 [N=8]	5	3	0
スポーツ・趣味などのサークル活動 [N=15]	7	9	0
国際交流・海外協力など活動 [N=2]	0	2	0
祭り・盆踊り・運動会などの地域活動 [N=12]	11	1	0
まちづくりなどの地域活性化のための活動 [N=1]	0	1	0
廃品回収等のリサイクルなどの環境保護活動 [N=2]	1	1	0

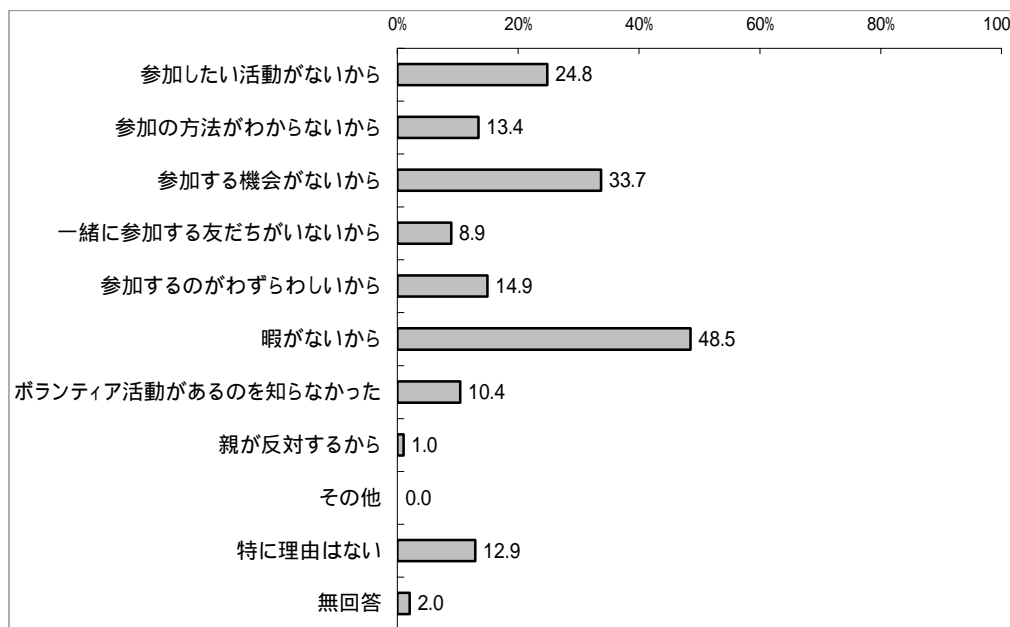
この1年間に、学校以外の団体、サークル活動へ「参加した」と回答した人に、活動内容ごとに活動頻度を聞いたところ、「子どもに対するボランティア活動」では「たまに参加している」という人が多く4人、「スポーツ・趣味などのサークル活動」では「よく参加している」「ときどき参加している」という人が多くいずれも6人、「祭り、盆踊り・運動会などの地域活動」では「たまに参加している」という人が多く5人となっています。

図表 III-167 活動頻度[N=30]

	よく参加している	ときどき参加している	たまに参加している	無回答
体に障害のある人や高齢者に対するボランティア活動 [N=3]	0	0	2	1
子どもに対するボランティア活動 [N=8]	2	2	4	0
スポーツ・趣味などのサークル活動 [N=15]	6	6	2	1
国際交流・海外協力など活動 [N=2]	1	0	0	1
祭り・盆踊り・運動会などの地域活動 [N=12]	2	4	5	1
まちづくりなどの地域活性化のための活動 [N=1]	0	1	0	0
廃品回収等のリサイクルなどの環境保護活動 [N=2]	0	1	1	0

この1年間に、学校以外の団体、サークル活動へ「参加しなかった」と回答した人に、その理由を聞いたところ、「暇がないから」という人の割合が最も高く48.5%、次いで、「参加する機会がないから」という人の割合が高く33.7%となっています。

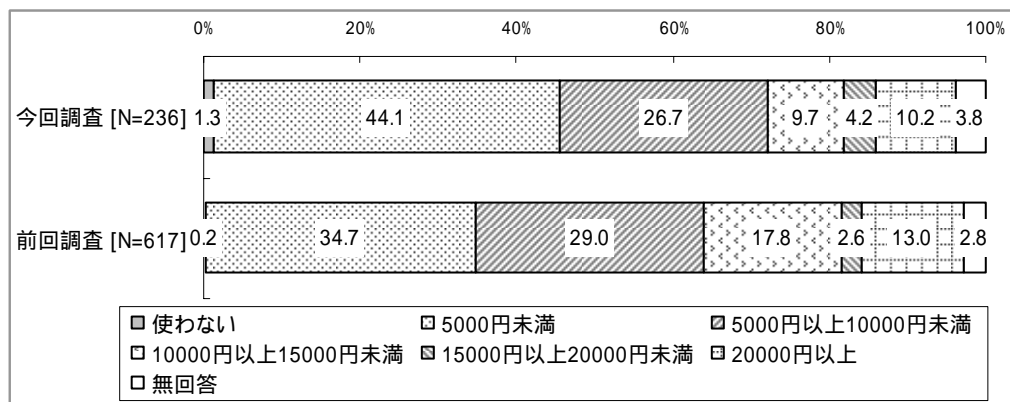
図表 III-168 活動に参加していない理由[N=202；複数回答]



(5) お金の使い方

1か月に使うお金を聞いたところ、「5000円未満」の割合が44.1%と最も高く、次いで、「5000円以上10000円未満」の割合が高く26.7%となっています。前回調査と比較すると、「5000円未満」の割合が9.4ポイント上昇しており、「10000円以上15000円未満」の割合が8.1ポイント低下しています。

図表 III-169 1か月に使うお金

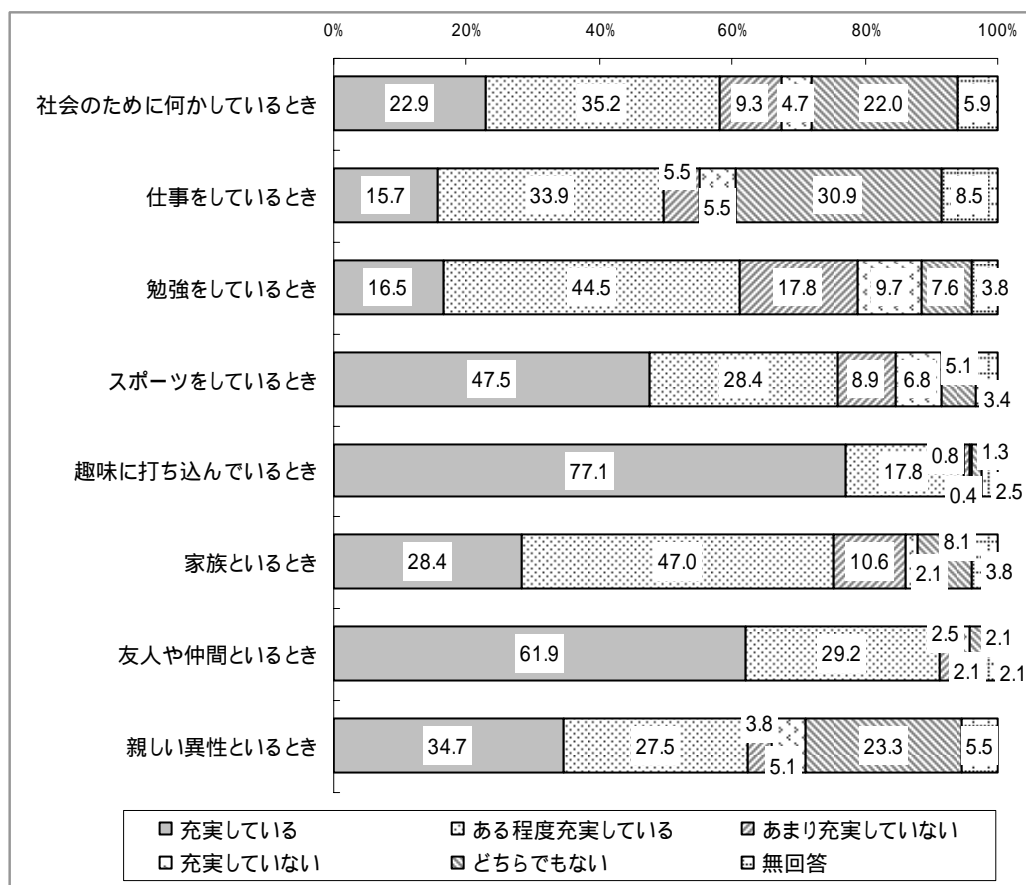


(6) 生活の充実感

普段の生活の中で充実感を感じているか聞いたところ、「充実している」という人の割合は、「趣味に打ち込んでいるとき」「友人や仲間といるとき」で高くなっており、6～8割となっています。また、「勉強をしているとき」「スポーツをしているとき」「家族といるとき」「親しい異性といるとき」は、に比べると「充実している」の割合が低く1.5～5割となっているものの、「ある程度充実している」という人と合わせると、6～7.5割となっています。

一方、「充実していない」という人の割合は「勉強をしているとき」(9.7%)、「スポーツをしているとき」(6.8%)で高くなっています。また、「どちらでもない」という人の割合は「社会のために何かしているとき」「仕事をしているとき」「親しい異性といるとき」で2～3割となっています。

図表 III-170 生活の充実感[N=236]

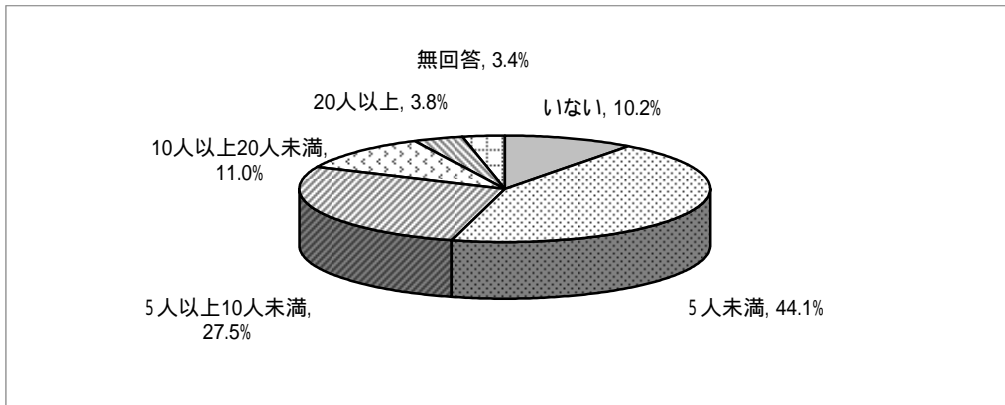


4 . 友人関係、地域での様子

(1) 何でも話せる友だちの人数

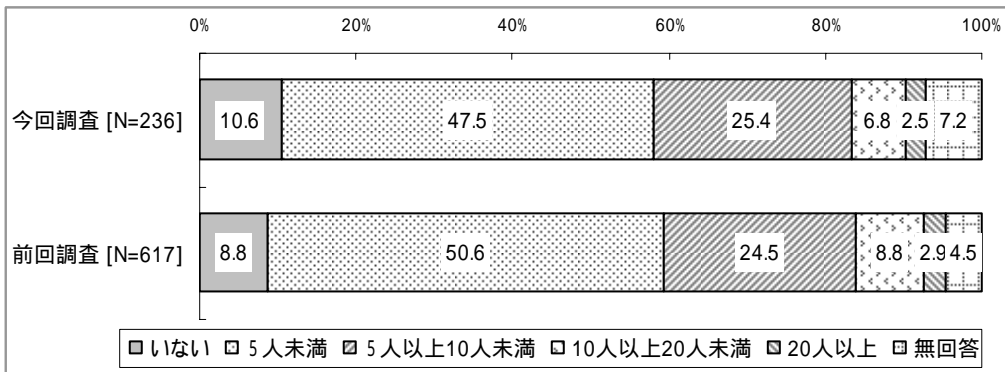
悩みごとや自分が話したいことなど何でも話せる友だちの人数を聞いたところ、「5人未満」(44.1%)、「5人以上10人未満」(27.5%)の順に高い割合となっています。

図表 III-171 相談相手の人数[N=236]



うち、同性の友達の場合は、「5人未満」(47.5%)、「5人以上10人未満」(25.4%)の順に高い割合となっています。

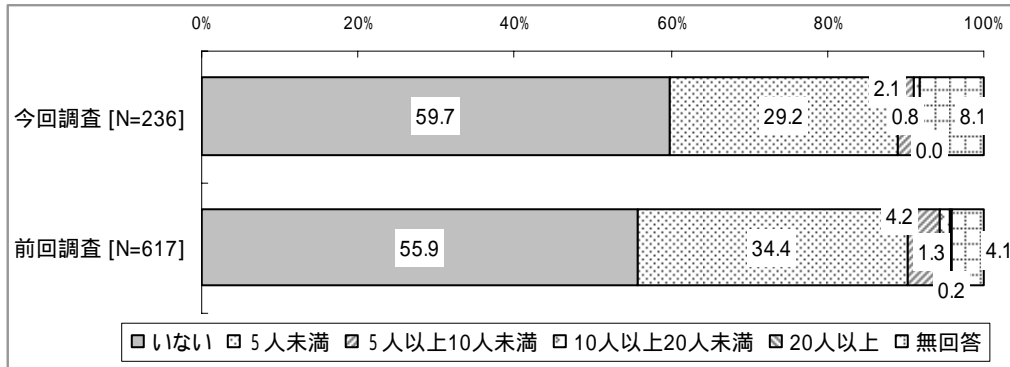
図表 III-172 何でも話せる同性の友だちの人数



「何でも話せる同性の友だちの人数」は、前回調査のみの設問であるため、前問の「何でも話せる友だちの人数」から、次問の「うち、異性の友だちの人数」を差し引いたものを、今回調査の集計結果としている。

また、異性の友だちの人数は、「いない」の割合が最も高く 59.7%、次いで、「5人未満」の割合が高く 29.2%となっています。前回調査と比較すると、「いない」という人の割合が 3.8 ポイント上昇しています。

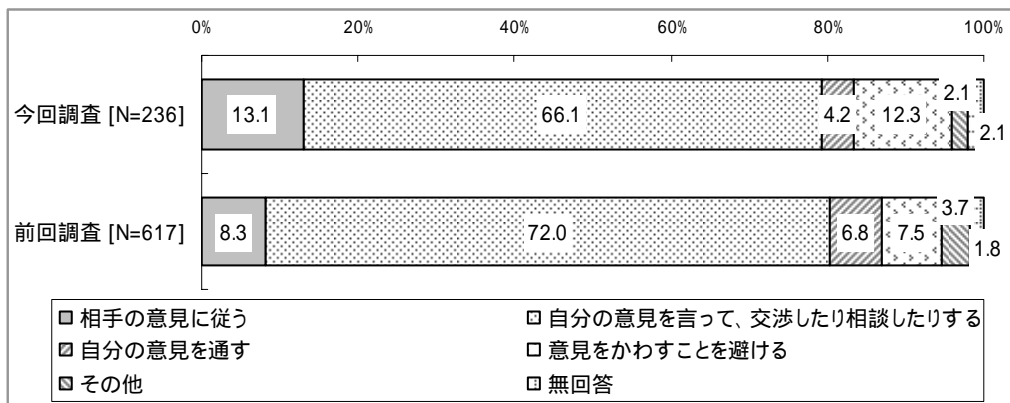
図表 III-173 何でも話せる異性の友だちの人数



他の子と意見があわない時の対処方法を聞いたところ、「自分の意見を言って、交渉したり相談したりする」という人の割合が最も高く 66.1%、次いで、「相手の意見に従う」という人の割合が高く 13.1%となっています。

前回調査と比較すると、「相手の意見に従う」(+ 4.8 ポイント)、「意見をかわすことを避ける」(+ 4.8 ポイント)という人の割合が上昇しており、「自分の意見を言って、交渉したり相談したりする」という人の割合が 5.9 ポイント低下しています。

図表 III-174 他の子と意見があわない時の対処方法

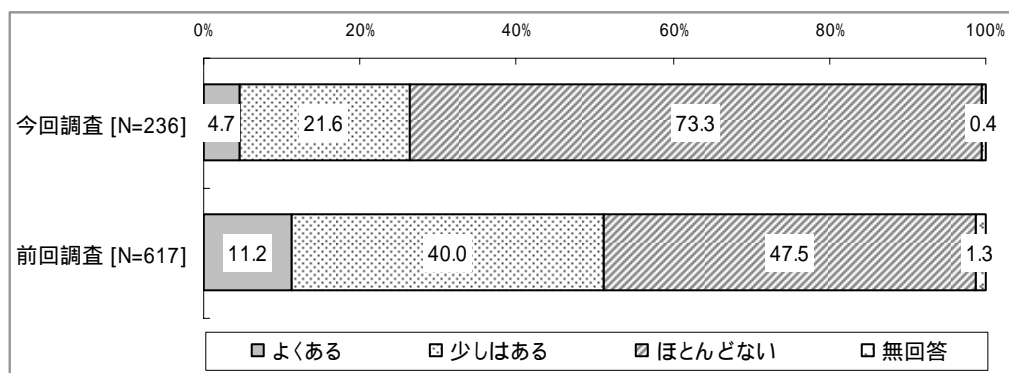


(2) 赤ちゃんとのふれあい

赤ちゃんをだっこしたり、あやしたりすることがあるか聞いたところ、「ほとんどない」という人の割合が最も高く 73.3%、次いで、「少しはある」という人の割合が高く 21.6% となっています。

前回調査と比較すると、「ほとんどない」という人の割合が 25.8 ポイント上昇しています。

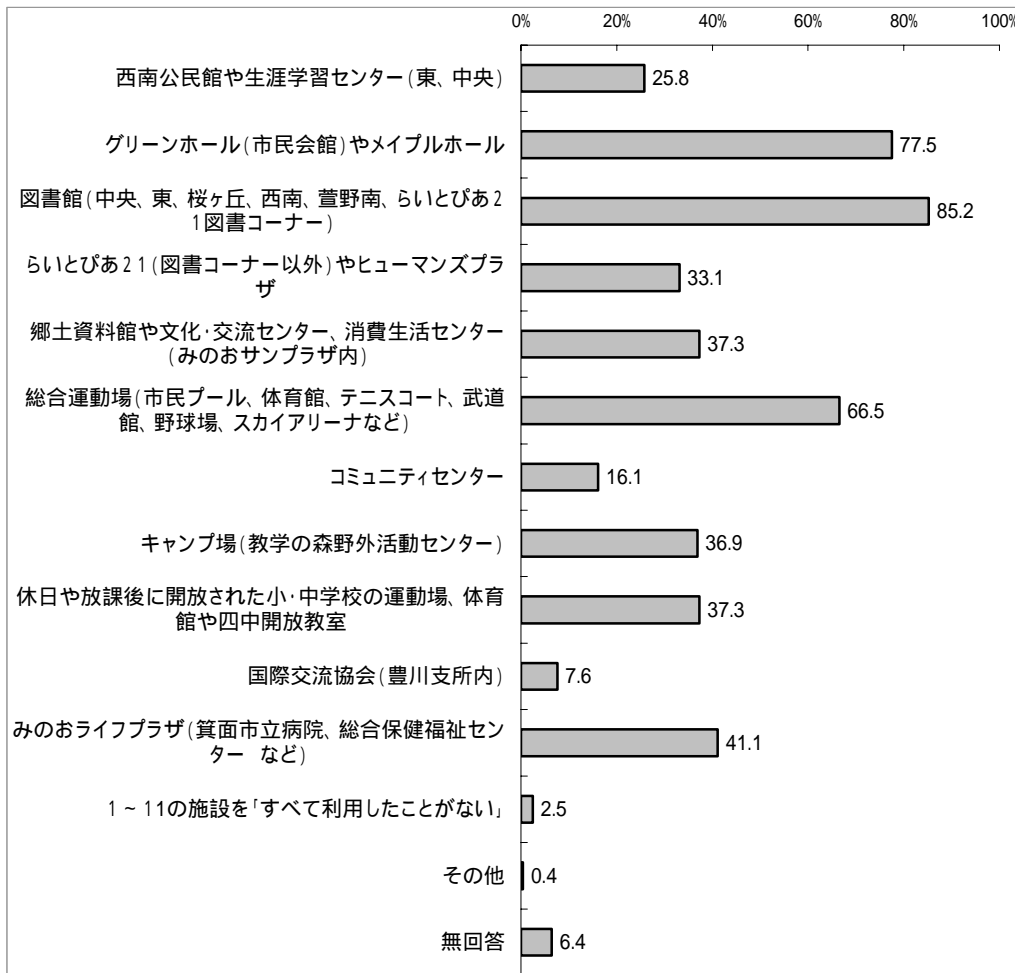
図表 III-175 赤ちゃんをだっこしたり、あやしたりすることがあるか



(3) 地域への愛着

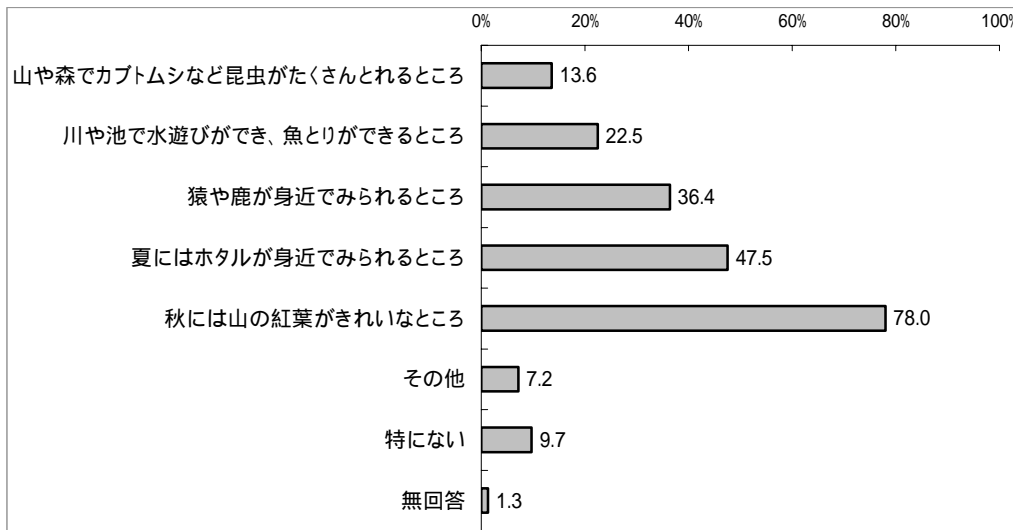
利用したり行ったことのある箕面市の施設を聞いたところ、「図書館(中央、東、桜ヶ丘、西南、萱野南、らいとぴあ21図書コーナー)」の割合が最も高く85.2%、次いで、「グリーンホール(市民会館)やメイプルホール」(77.5%)、「総合運動場(市民プール、体育館、テニスコート、武道館、野球場、スカイアリーナなど)」(66.5%)の順に高い割合となっています。

図表 III-176 利用したり行ったことのある箕面市の施設[N=236；複数回答]



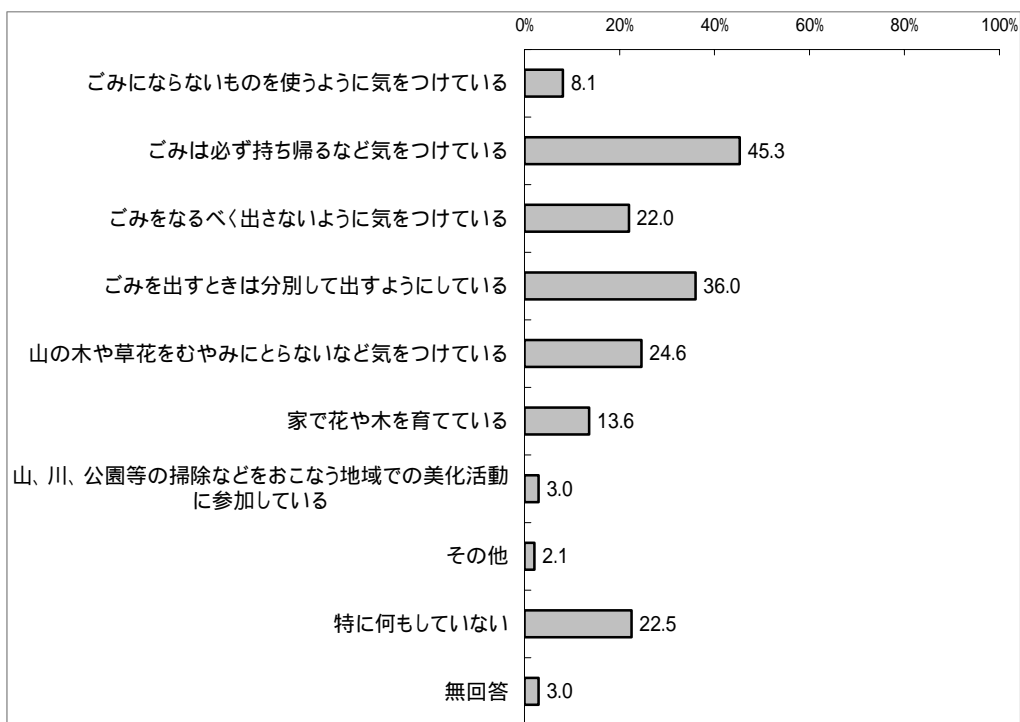
箕面の自然の好きなところを聞いたところ、「秋には山の紅葉がきれいなところ」という人の割合が最も高く 78.0%、次いで、「夏にはホタルが身近で見られるところ」という人の割合が高く 47.5%となっています。

図表 III-177 箕面の自然の好きなところ[N=236；複数回答]



箕面の自然や環境を守るためにしていることを聞いたところ、「ごみは必ず持ち帰るなど気をつけている」という人の割合が最も高く 45.3%、次いで、「ごみを出すときは分別して出すようにしている」という人の割合が高く 36.0%となっています。

図表 III-178 箕面の自然や環境を守るためにしていること[N=236；複数回答]



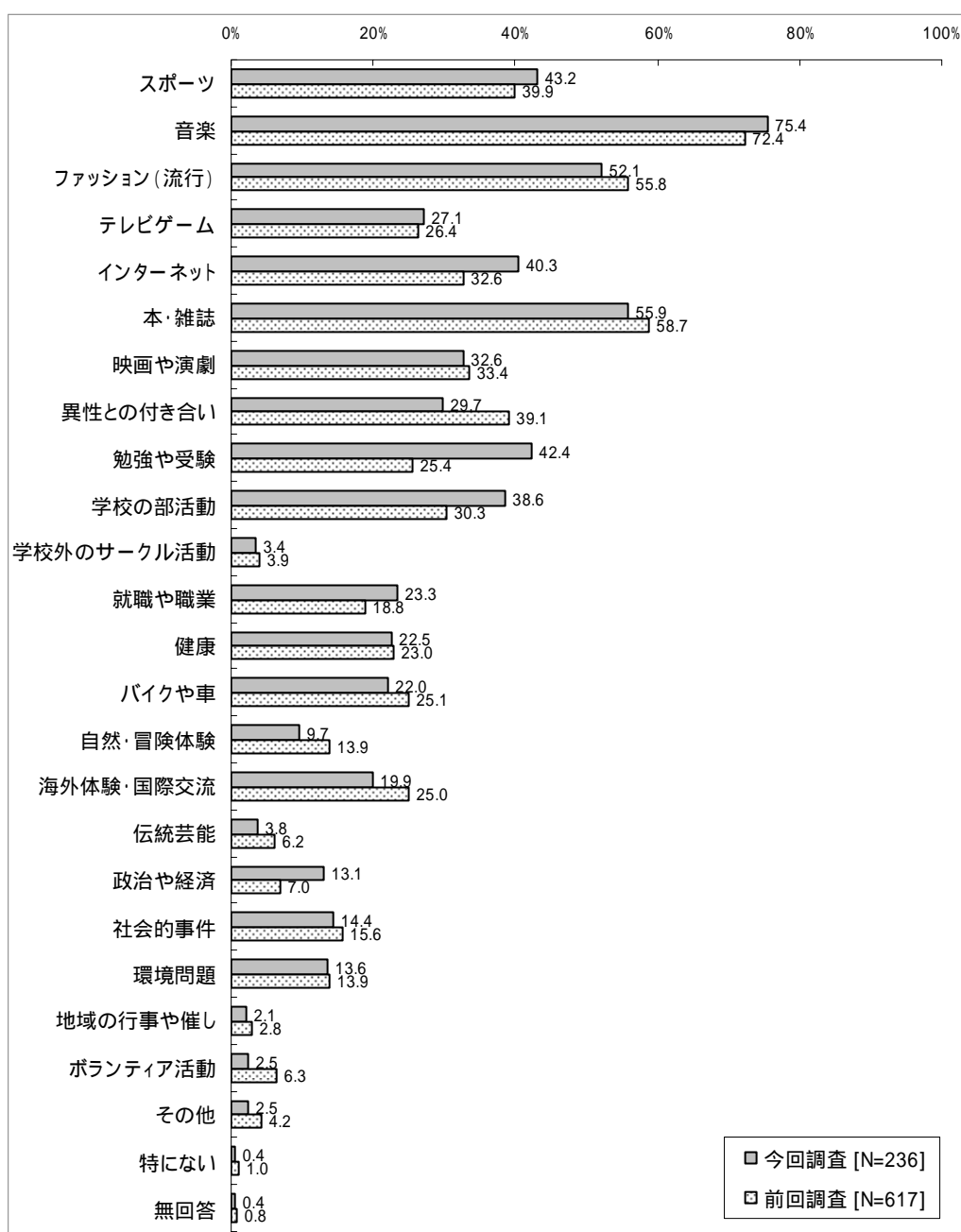
5. 考え方、気持ち

(1) 関心事

今、関心のあることを聞いたところ、「音楽」の割合が最も高く75.4%、次いで、「本・雑誌」(55.9%)、「ファッション(流行)」(52.1%)の順に高い割合となっています。

前回調査と比較すると、「インターネット」(+7.7ポイント)、「勉強や受験」(+17.0ポイント)、「学校の部活動」(+8.3ポイント)、「政治や経済」(+6.1ポイント)の割合が上昇しており、「異性との付き合い」の割合が9.4ポイント低下しています。

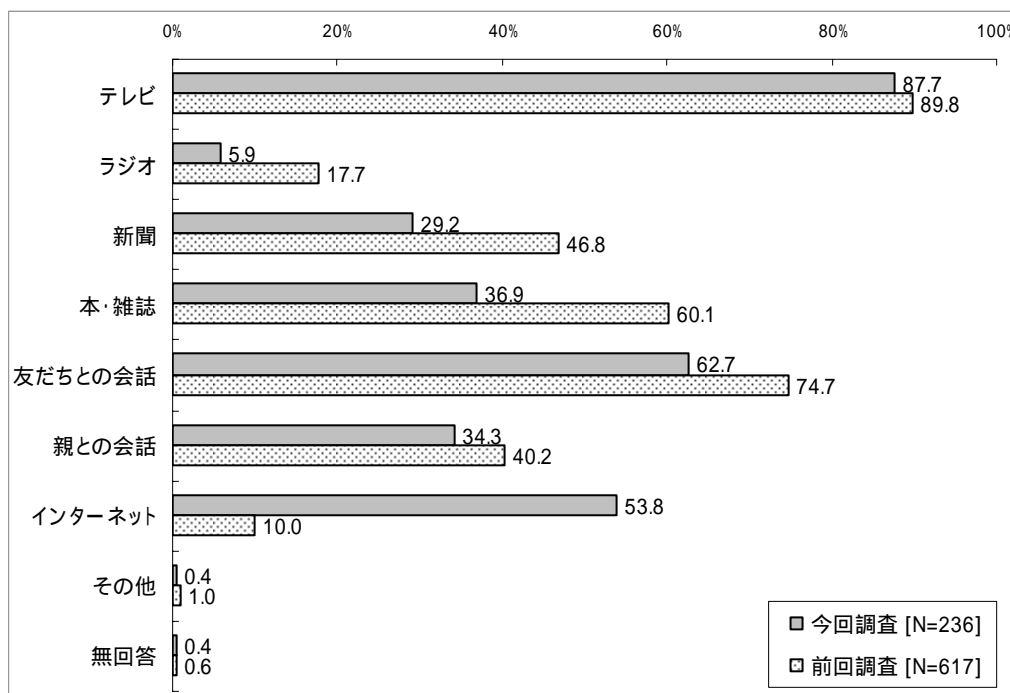
図表 III-179 関心のあること[複数回答]



世の中の出来事や流行などの情報の入手方法を聞いたところ、「テレビ」の割合が最も高く 87.7%、次いで、「友だちとの会話」(62.7%)、「インターネット」(53.8%)の順に高い割合となっています。

前回調査と比較すると、「インターネット」の割合が 43.8 ポイント上昇しており、それ以外の入手方法については割合が低下しています。特に、「新聞」(-17.6 ポイント)、「本・雑誌」(-23.2 ポイント)の割合は大きく低下しています。

図表 III-180 世の中の出来事や流行などの情報の入手方法[複数回答]

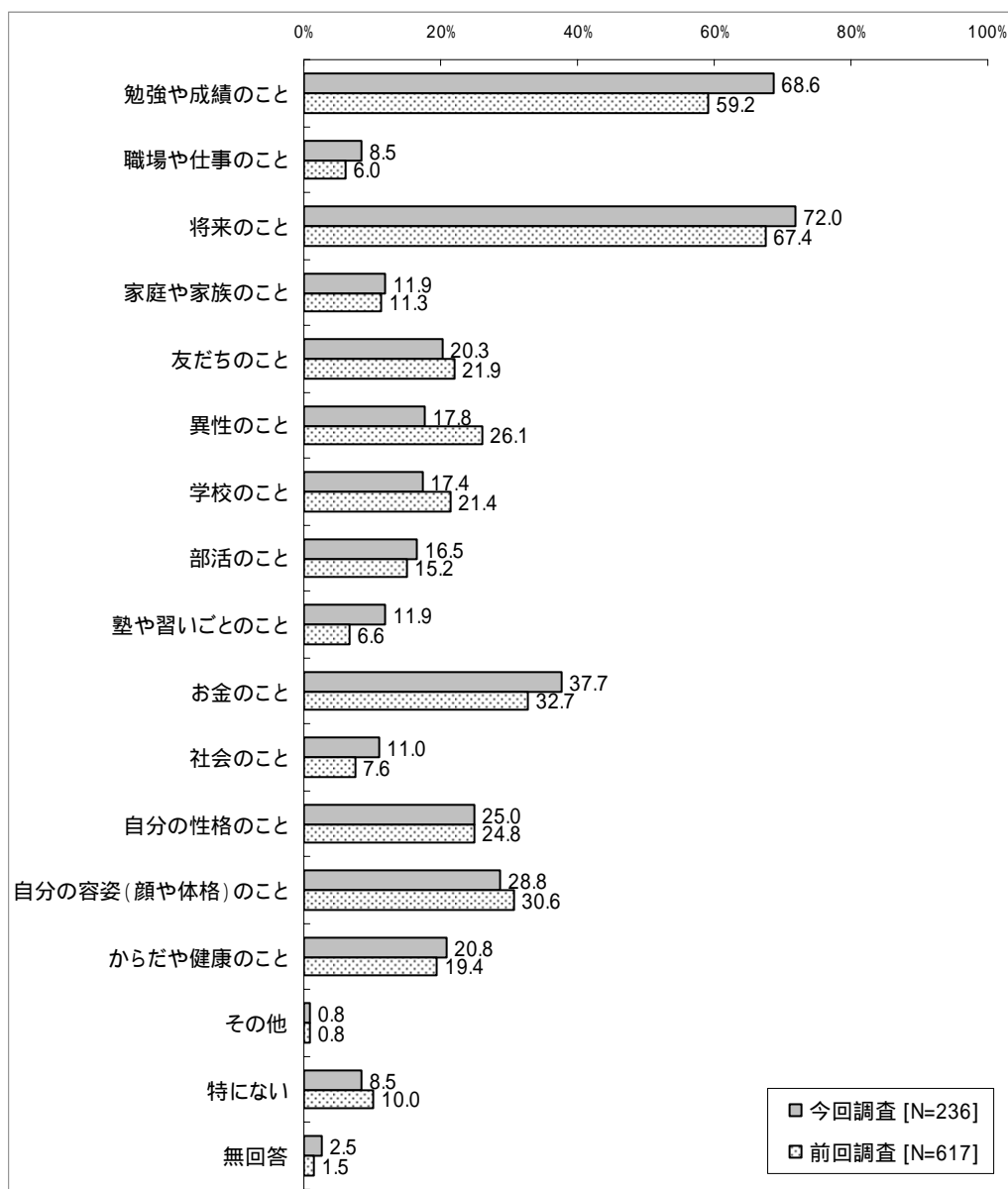


(2) 悩みごと、心配ごと

今、悩んでいること、心配なことを聞いたところ、「将来のこと」(72.0%)、「勉強や成績のこと」(68.6%)の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、「勉強や成績のこと」という人の割合が9.4ポイント上昇しており、「異性のこと」という人の割合が8.3ポイント低下しています。

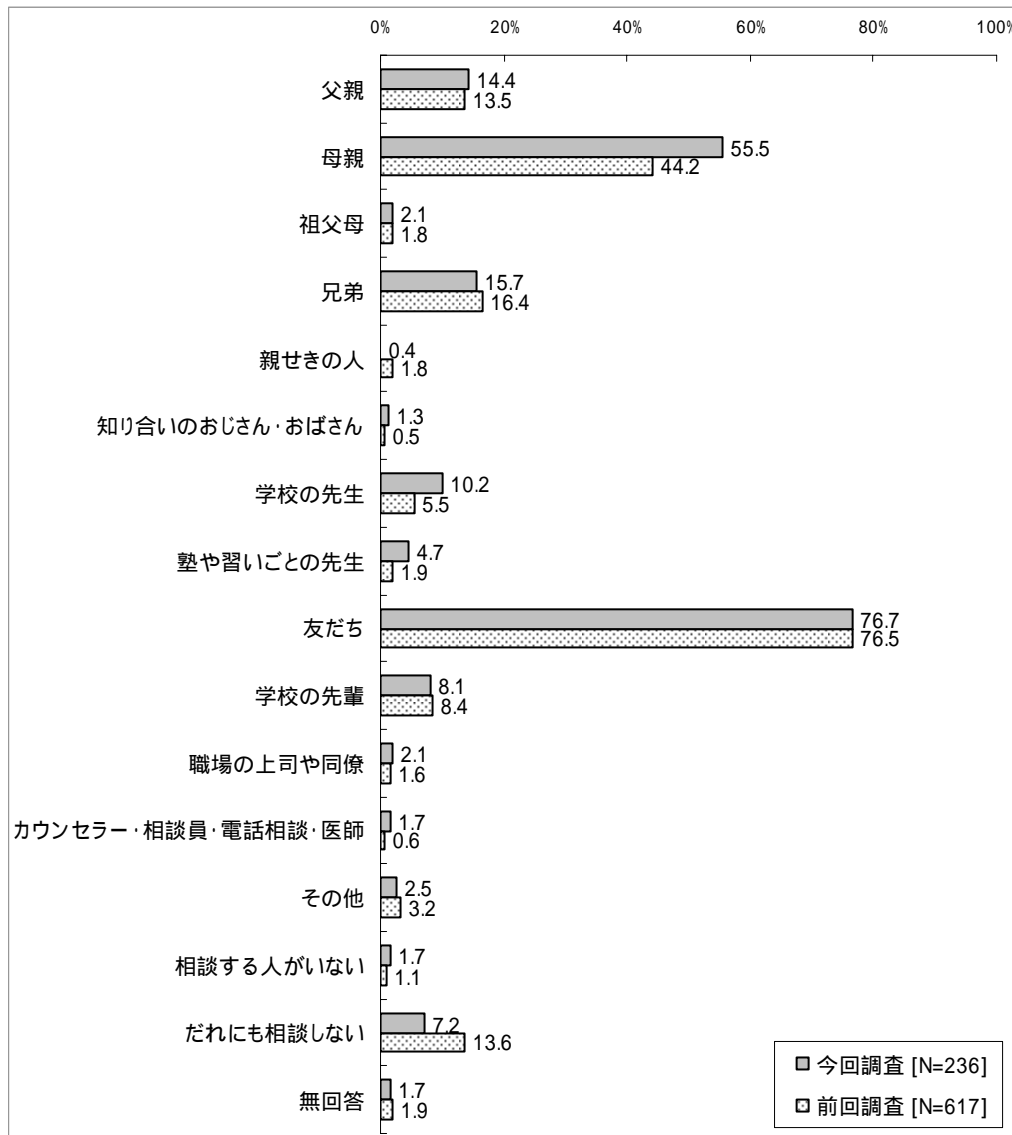
図表 III-181 悩みごと、心配ごと[複数回答]



困ったときや心配なときの相談相手を聞いたところ、「友だち」という人の割合が最も高く76.7%、次いで、「母親」という人の割合が高く55.5%となっています。

前回調査と比較すると、「母親」(+11.3ポイント)、「学校の先生」(+4.7ポイント)という人の割合が上昇しており、「だれにも相談しない」という人の割合は6.4ポイント低下しています。

図表 III-182 困ったとき、心配なときの相談相手[複数回答]

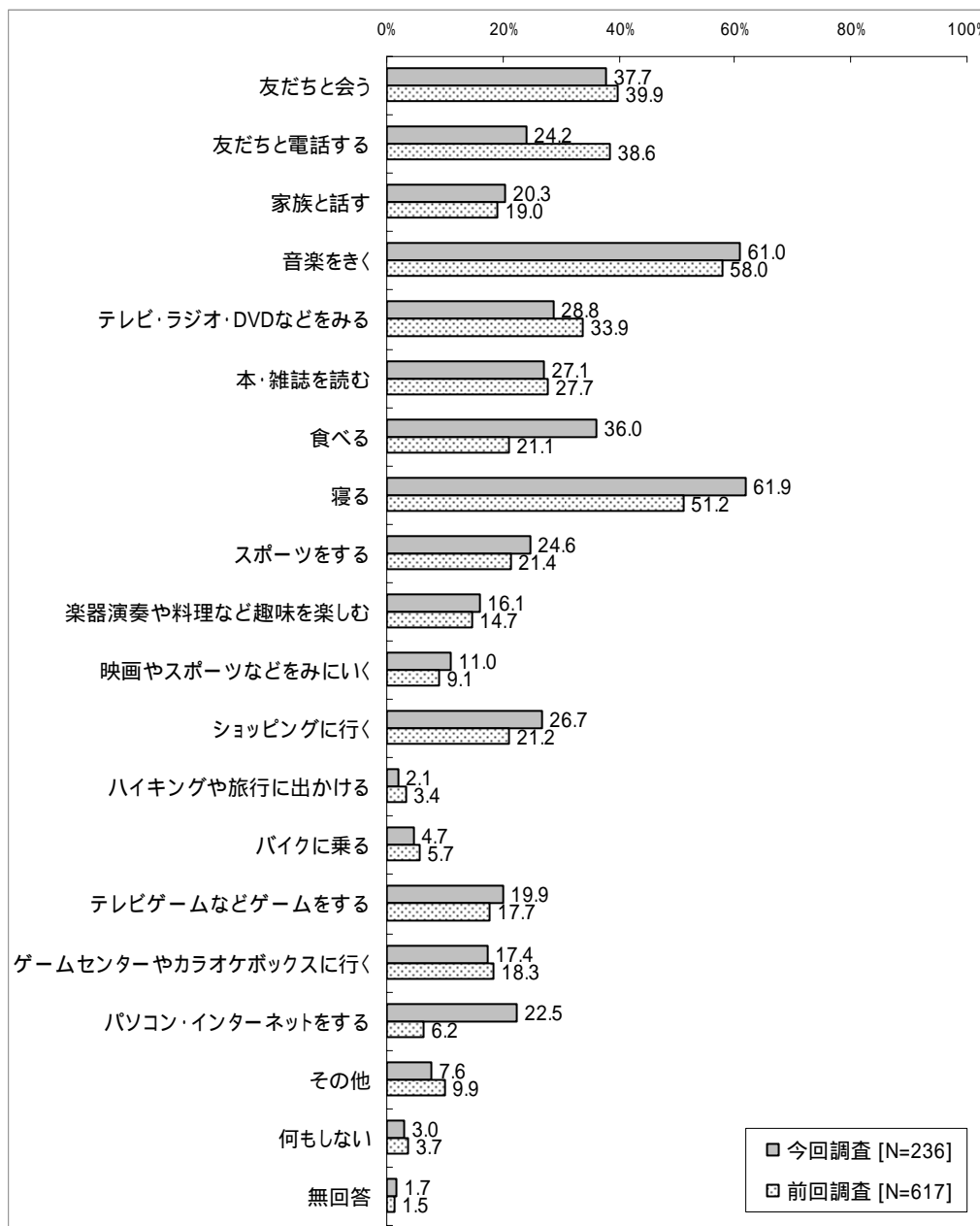


(3) 気持ちの解消方法

落ち込んだりしたときの気持ちの解消方法を聞いたところ、「寝る」(61.9%)、「音楽をきく」(61.0%)という人の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、「食べる」(+14.9ポイント)、「寝る」(+10.7ポイント)、「パソコン・インターネットをする」(+16.3ポイント)という人の割合が上昇しており、「友だちと電話する」という人の割合は14.4ポイント低下しています。

図表 III-183 落ち込んだときの気持ちの解消方法[複数回答]

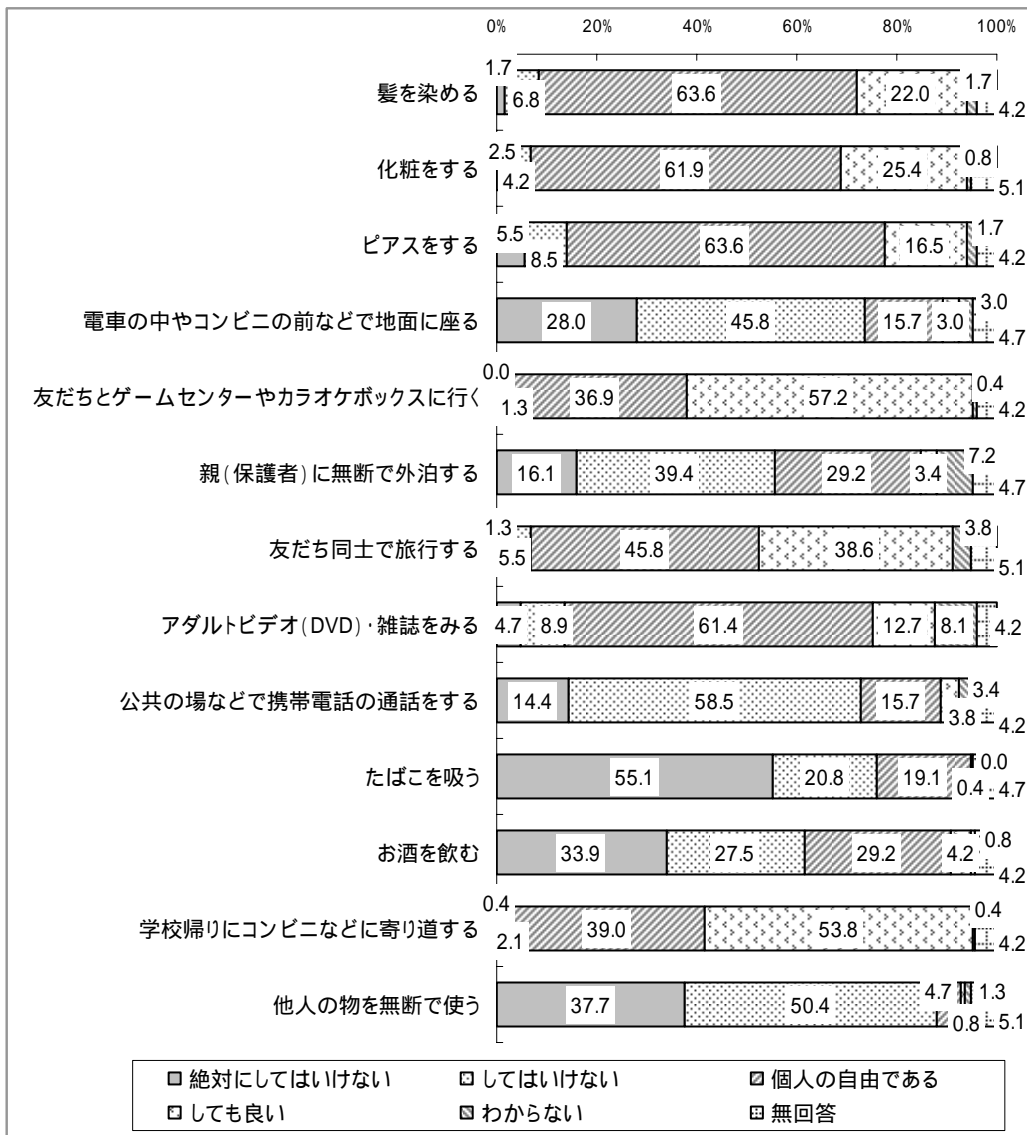


前回調査は、「テレビ・ビデオ・DVDなどをみる」は「テレビ・ビデオを見る」となっている。

(4) モラルに対する考え方

モラルに対する考え方を聞いたところ、「たばこを吸う」については、「絶対にしてはいけない」という人の割合が高く55.1%となっています。また、「電車の中やコンビニの前などで地面に座る」「親(保護者)に無断で外泊する」「公共の場などで携帯電話の通話をする」「お酒を飲む」「他人の物を無断で使う」については、に比べると、「絶対にしてはいけない」という人の割合が低く1.5~4割となっているものの、「してはいけない」という人とあわせると、5.5~9割となっています。また、「個人の自由である」という人の割合は、「髪を染める」「化粧をする」「ピアスをする」「アダルトビデオ(DVD)・雑誌をみる」で高くなっており、約6割となっています。「しても良い」という人の割合は、「友だちとゲームセンターやカラオケボックスに行く」「学校帰りにコンビニなどに寄り道する」で高くなっており5~6割となっています。

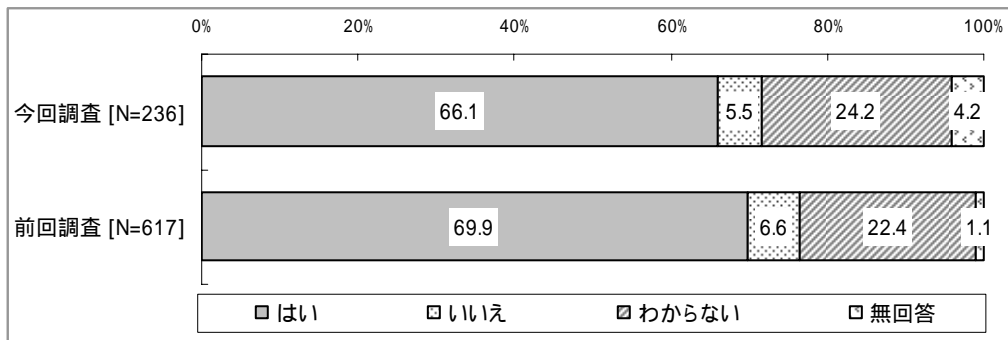
図表 III-184 モラルに対する考え方[N=236]



(5) 自分についての考え方

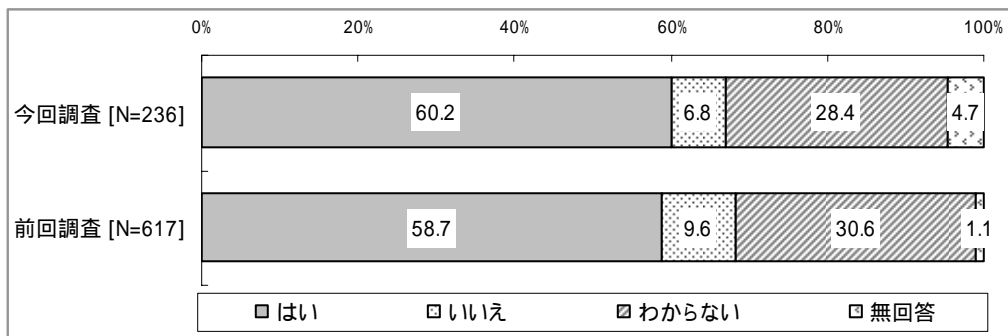
自分の気持ちをわかってくれる人がいるか聞いたところ、「はい」の割合が最も高く 66.1%、次いで、「わからない」の割合が高く 24.2%となっています。前回調査と比較すると、「はい」の割合が 3.8 ポイント低下しています。

図表 III-185 自分の気持ちを分かってくれる人がいるか



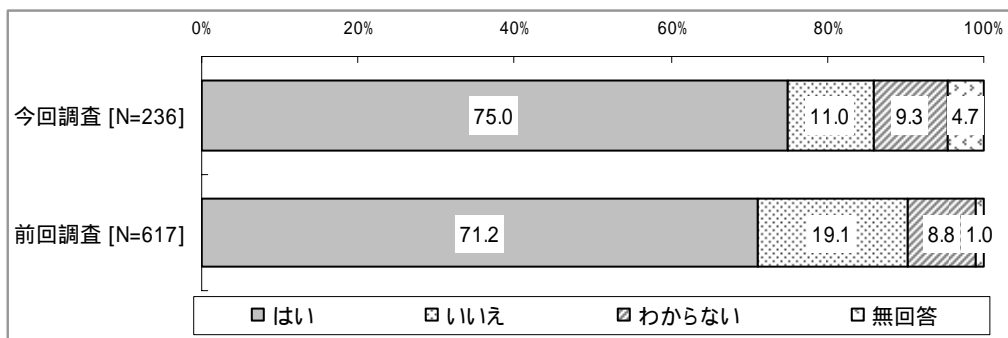
自分は幸せだと思うか聞いたところ、「はい」の割合が最も高く 60.2%、次いで、「いいえ」の割合が高く 28.4%となっています。

図表 III-186 自分は幸せか



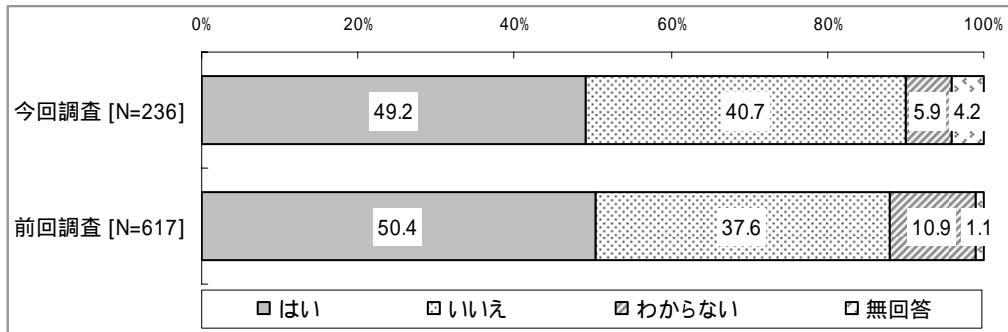
他人にどう思われているか気になる方が聞いたところ、「はい」の割合が最も高く 75.0%、次いで、「いいえ」の割合が高く 11.0%となっています。前回調査と比較すると、「はい」の割合が 3.8 ポイント上昇し、「いいえ」の割合が 8.1 ポイント低下しています。

図表 III-187 他人にどう思われているか気になる方が



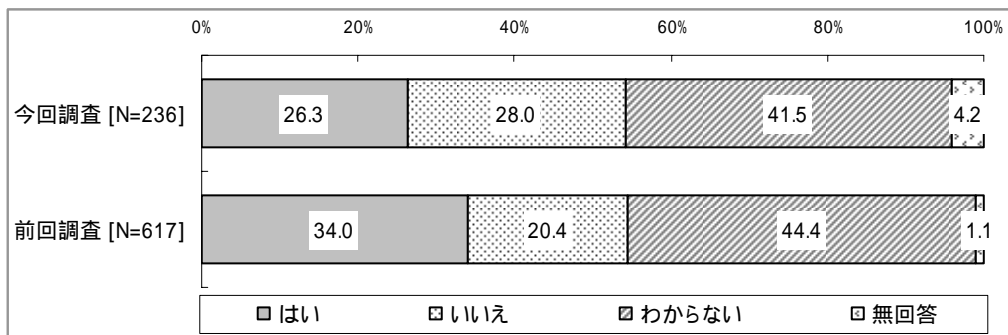
家出したいと思ったことがあるか聞いたところ、「はい」(49.2%)、「いいえ」(40.7%)の順に高い割合となっています。

図表 III-188 家出したいと思ったことがあるか



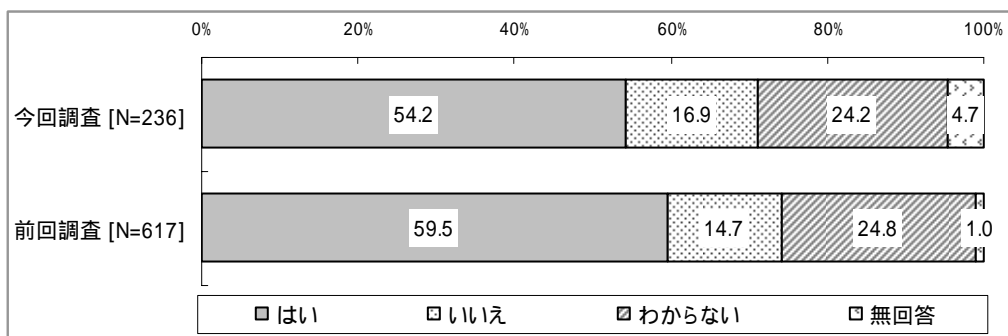
自分のことがすきか聞いたところ、「わからない」の割合が最も高く41.5%、次いで、「いいえ」(28.0%)、「はい」(26.3%)の順に高い割合となっています。前回調査と比較すると、「はい」の割合は7.7ポイント低下しており、「いいえ」の割合は7.6ポイント上昇しています。

図表 III-189 自分のことがすきか



何か1つでも自慢できることがあるか聞いたところ、「はい」の割合が最も高く54.2%、次いで、「わからない」の割合が高く24.2%となっています。前回調査と比較すると、「はい」の割合が5.3ポイント低下しており、「いいえ」の割合が2.2ポイント上昇しています。

図表 III-190 何か1つでも自慢できることがあるか

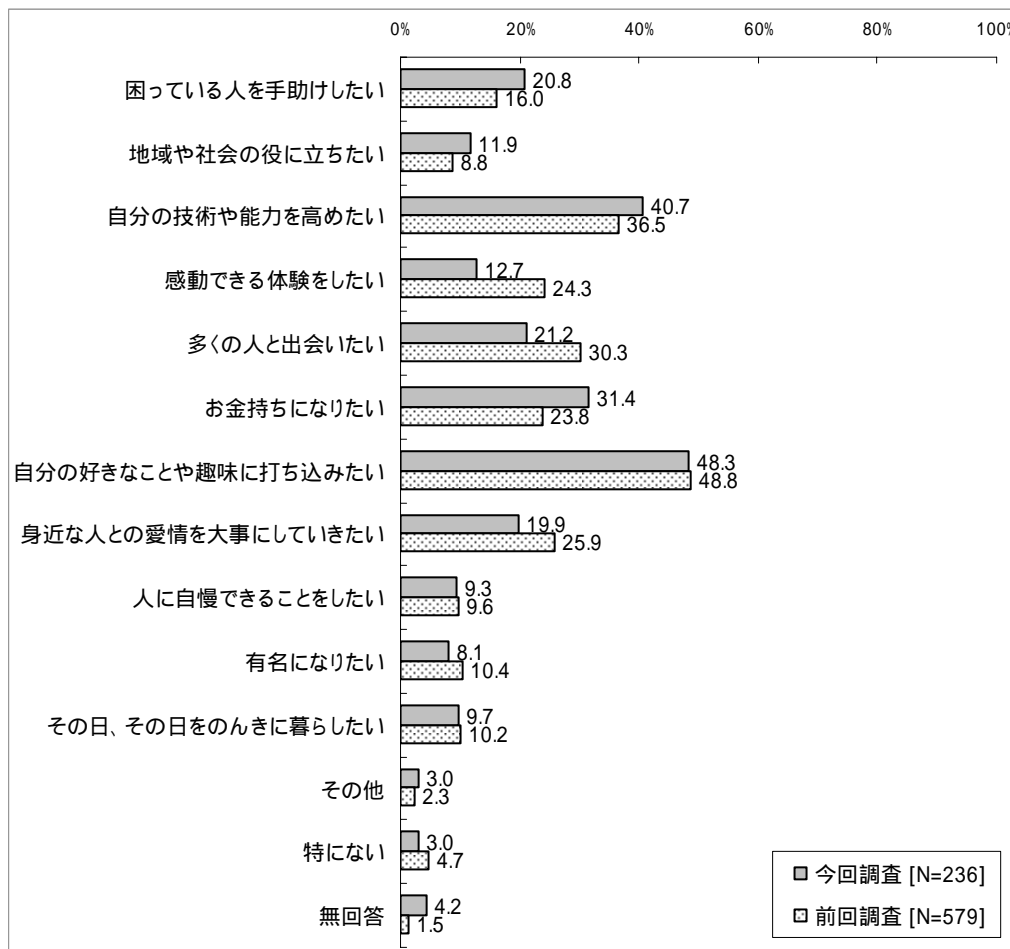


(6) 将来の夢

将来の夢を聞いたところ、「自分の好きなことや趣味に打ち込みたい」(48.3%)、「自分の技術や能力を高めたい」(40.7%)という人の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、「感動できる体験をしたい」(-11.6ポイント)、「多くの人と出会いたい」(-9.1ポイント)という人の割合が低下しており、「お金持ちになりたい」という人の割合が7.6ポイント上昇しています。

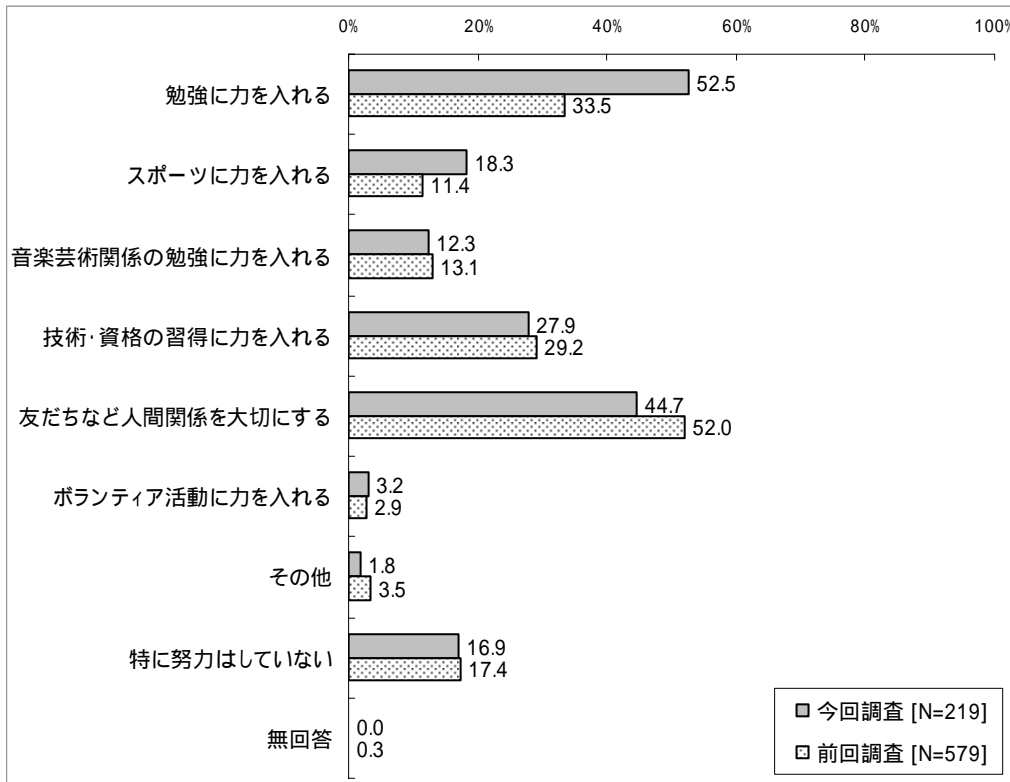
図表 III-191 将来の夢[複数回答]



将来の夢があると回答した人に、夢を実現するためにしている努力を聞いたところ、「勉強に力を入れる」という人の割合が最も高く 52.5%、次いで、「友だちなど人間関係を大切にする」という人の割合が高く 44.7%となっています。

前回調査と比較すると、「勉強に力を入れる」(+19.0 ポイント)、「スポーツに力を入れる」(+6.9 ポイント)という人の割合が上昇しており、「友だちなど人間関係を大切にする」という人の割合が 7.3 ポイント低下しています。

図表 III-192 夢を実現するためにしている努力[複数回答]



将来の夢について、「特にない」と回答した人に、夢がない理由を聞いたところ、「自分に何が向いているのかわからないから」という人が 6 人、「実現できる自信がないから」という人が 4 人となっています。

図表 III-193 夢がない理由[N=7 ; 複数回答]

